

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	公設市場特別会計											
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210607他	款	01 市場費	項	01 卸売市場費	目	01 一般管理費	会計	09 卸売市場 決算付属資料	288	頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する								
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	改正卸売市場法、福知山市公設地方卸売市場条例											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民に新鮮かつ安心・安全な農産物等を供給すると共に、農業振興の拠点として、市内の生産者と連携し、地場産野菜の生産・出荷体制作りを支援し、地場産農産物の高付加価値化と地産地消を推進する。					
対象者	市民		対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	14,000		9,300		25,300		19,874			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
	小計(①～③)	14,000		9,300		25,300		19,874			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	14,000		9,300		25,300		19,874			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	14,000		9,300		0		0			
	③ 執行額	10,354		6,947		0		0			
	④ 執行率	74.0%		74.7%							
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.49	/	0.65	0.49	/	0.65	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	5,545		5,545		5,545		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,899		12,492		5,545		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金			種類	他会計繰入金		6,946		286	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市場取引料	千円	800473	758584 / 0	739772 / 730000	/ 730000	0
	使用料収入	千円	10313	10171 / 0	9648 / 9500	/ 9500	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市場取扱高	t	2565	2571 / 0	2357 / 2500	/ 2500	0
	単位あたりコスト		0.7	4.0	2.9		
	関連店舗使用面積	m ²	894	894 / 0	871 / 871	/ 871	0
	単位あたりコスト		1.9	11.6	8.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	安心安全な地場産野菜の提供は市民のニーズに合致しているが、直販所や農家と消費者による直接取引など、流通が大きく変化している中、あり方検討の結果を踏まえて、現在の指定管理制度終了後は、卸売業者が開設者となり、民設・民営により管理運営を一本化し市場機能の存続・促進を図る。 開設者が民間事業となり、公設地方卸売市場事業としては廃止となるが、民設・民営の地方卸売市場として市場機能は存続する。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	指定管理制度の導入により、施設管理については効率化が図られたが、卸売業務の運営面は卸売業者が運営しているため、開設者（市）の承認案件等は時間がかかる案件がある状況である。今後は卸売業者が開設者となり、市場の管理・運営を一本化することにより一層の効率化を推進する。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	青果の取扱量はR元年度まで伸びていたが、R2年度はコロナ禍の影響もあり微減している。 また、仲卸業者、関連店舗数が減少したため、施設使用料が減少している。 指定管理者には今後も引き続き空き店舗対策を求める必要がある。 R3年度は現指定管理の最終年度となっており、R4年度以降は卸売業者が開設者となり民設・民営に移行することにより市場の管理・運営を一本化し市場機能の存続と促進を図る。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	コロナ禍ではあるが、一定の取扱量を保ち、市民が安心・安全な生鮮食品の供給を継続して提供することができた。 セリ売りの取扱量は前年度より減少しており、地場産野菜の集荷促進が緊急の課題となっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理制度の導入により、効率的な管理ができたが、この間施設の改修費用を市として調達できなかった。 今後は指定管理制度を廃止し、民設民営化し、普通財産を市がそれぞれ直接貸付けることにより、市は改修費用調達を見込む。 また、卸売業者は開設者となり管理・運営を一本化することにより、市場機能の存続と促進を図る。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	卸売市場法の規定に基づく協議を進める中で、国・府の承認日程が不確定な状況であり、次年度当初からの市場休止の事態を避けるため、指定管理の期間を最長で1年延長する方向で検討している。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合
	(統合先事業名:)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	と畜場特別会計												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	余田 学			
会計情報	事業コード	210601他	款	01 と畜場費	項	01 施設管理費	目	01 一般管理費	会計	04 と畜場	決算付属資料	276	頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する									
計画期間	開始年度	昭和39年	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	と畜場法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 （綾部市・舞鶴市・宮津市の負担金）												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	と畜場運営費												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	衛生的で効率的な食肉処理を行う施設として、市民生活の安定に寄与することを目的に「と畜場法」に基づき、平成9年7月に移転開設された福知山市食肉センターの運営・管理を行う。				
対象者	市内外家畜商取引業者	対象者数	20	単位あたりコスト	1,560.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	35,900	30,800	700	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	35,900	30,800	700	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	1,627	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	34,273	30,800	700	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0			
	② 配当予算	35,900	30,800	0	0			
	③ 執行額	26,450	23,209	0	0			
	④ 執行率	73.7%	75.4%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.11 / 0.00	1.00 / 0.00	1.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	8,880	8,000	8,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,330	31,209	8,000	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	施設使用料、冷蔵庫使用料	種類	と畜場使用料	実績金額	1,139	274	頁
		一般会計繰入金		他会計繰入金	2,087	決算付属資料	274	
		運営負担金 ほか		雑入	19,981		274	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市内業者利用頭数	頭	22	20 / 36	20 / 36	/ 0	36
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	利用頭数	頭	426	323 / 662	162 / 662	/ 0	662
	単位あたりコスト		0.0	81887.3	143.3		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	・近隣にも同じ施設が存在している。 ・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウイルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウイルスの影響により目標値との乖離がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食肉センター機能の維持管理・運営は達成できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	食肉センターについては令和3年3月31日で運用を休止し、令和3年度は食肉センターの廃止に向け、条例等の廃止を行っており、令和4年度については予算計上を行わない。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	災害に強い森づくり事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	550319	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	台風等により保全機能が低下した森林において、森林荒廃の拡大、土砂等の流出による再度被害を防止するため治山施設を設置する。				
対象者	保全対象戸数	対象者数	1	単位あたりコスト	18,811.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		35,000		35,000		40,000				
	② 補正予算	4,000		0		0		0				
	③ 繰越予算	61,975		△ 21,149		25,149		0				
	前年度繰越	65,975		4,000		25,149		0				
	次年度繰越	△ 4,000		△ 25,149		0		0				
小計(①～③)		65,975		13,851		60,149		40,000				
予算財源内訳	① 一般財源	△ 25		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	66,000		13,851		60,149		40,000				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	65,975		13,851		0		0				
	③ 執行額	65,975		13,851		0		0				
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.29	/	0.00	0.62	/	0.00	0.62	/	0.00		
	② 概算人件費	2,320		4,960		4,960		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		68,295		18,811		4,960		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害に強い森づくり事業		種類	農林業費府委託金		実績金額	4,000		決算付属資料	32	頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	整備地区数	地区	2/3	2 / 3	1 / 1	/ 1	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	整備地区数	地区	2/3	2 / 3	1 / 1	/ 1	0
	単位あたりコスト		21326.0	32987.6	13851.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	平成30年に発生した豪雨災害により民家裏の災害復旧的な事業で、ニーズは高い。 ・複数の土地に影響する事業であるので、市民自らが行なうことは困難である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・京都府の委託事業で、治山事業であるため、受益者負担は発生しない。 ・コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・成果実績は毎年度把握している。 ・京都府からの委託事業であるため、100%補助で事業実施が可能で、受益者負担も発生しない有効性のある事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・平成30年7月豪雨による被害の復旧に際し、国庫補助事業で実施困難な箇所を京都府の単独事業である「災害に強い森づくり事業」として委託されているもので、災害復旧事業と同様で、成果指標の設定は困難である。 ・河守地区治山工事については、令和2年度に完了し、また、公庄地区治山工事については繰越事業となったが、令和3年度に完了予定。		
これまでの課題及び今後の方向性	・本事業の実施が必要な箇所が多くあるため、関係自治会とも調整の上、京都府に対し事業採択の要望を継続していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	地元要望箇所を優先度の高い順に、引き続き工事を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	福知山千年の森づくり事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	220401	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和20年度	関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画							
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、丹後天橋立大江山公園内の施設整備を進めるとともに、市民参加の森づくり運動を推進して、国定公園エリアの文化と景観の保全・継承・整備を行い、周辺集落の維持活性化を図りながら、「オンリーワン」の森林公園を目指す。				
対象者	国定公園来訪者数	対象者数	114,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	422	2,826	9,183	7,260			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	422	2,826	9,183	7,260			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	300	2,826	2,750	7,260			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	122	0	6,433	0			
決算情報	① 流充用額	0	△ 2,083	0	0			
	② 配当予算	422	743	0	0			
	③ 執行額	272	1	0	0			
	④ 執行率	64.5%	0.1%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.26 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,080	1,840	1,840	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,352	1,841	1,840	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	国定公園への来訪者数	人	131000/257000	123000 / 257000	114000 / 257000	/ 257000	257000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	千年の森づくり活動参加者数	人	242/ 127	292 / 133	23 / 146	/ 146	146
	単位あたりコスト		0.1	0.9	0.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与する必要性は高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	方向性を決めるための基礎調査であり、直接事業者等関係団体への聞き取りを行っているため、効率性は良い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることと、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	はじめの取り掛かりとして、自然・歴史・伝説など地域資源の魅力をどのように発信していくのか、多くの意見を聞き取り将来像を見据えた検討が必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	自然・歴史・伝説など様々な地域資源の魅力を発信し誘客を図りつつ、国定公園の価値を見出し継続的に森づくりに関わる人を作ることで、地域振興と自然環境の保全へとつながるサイクルを確立させるために、福知山千年の森づくり計画の見直しを実施する。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和3年度に改定する「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、子どもを対象とした「木育・森林環境教育」と「トレイルラン教室」を実施する予定である。 また、3カ年程度の計画であるアクションプランを基本計画に基づき作成することを予定しており、令和5年度以降の取り組みにつなげることとする。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	と畜場運営費															
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学							
会計情報	事業コード	210614	款	04 衛生費		項	05 と畜場費		目	01 と畜場施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する												
計画期間	開始年度	平成9年	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	と畜場法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	食用に供するために行なう獣畜(牛・馬・豚・めん羊・山羊)の処理を適正に行なうため、北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の共同利用施設として連携を図りながら公衆衛生の見地から施設を維持、運営し、その財源として使用料収入との差額を北部四市で拠出する運営負担金のうち本市分に充てている。					
対象者	福知山市(と畜場特別会計)		対象者数	1	単位あたりコスト	16,275.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (と畜場特別会計への負担金支出)					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	・と畜場法に基づく食肉処理施設である、福知山市食肉センターの管理運営・維持管理を行うための負担金を支出した。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	13,715	と畜場運営負担金			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	17,862		18,466		700		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
		前年度繰越	0		0		0		0				
		次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		17,862		18,466		700		0					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	17,862		18,466		700		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決 算 情 報	① 流充用額	△ 47		△ 71		0		0					
	② 配当予算	17,815		18,395		0		0					
	③ 執行額	14,672		13,715		0		0					
	④ 執行率	82.4%		74.6%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.11	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	8,880		2,560		2,560		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,552		16,275		2,560		0					
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	と畜場運営費(きょうと地域連携交付金)		種 類	衛生費府補助金		実績金額	6,002		決算付属資料	28	
													頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	総利用頭数	頭	426/662	323 / 662	162 / 662	/ 0	662
	本市分利用頭数	頭	22/21	20 / 21	23 / 21	/ 0	21
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	負担金決算額	百万円	17	14.6 / 17.8	13.7 / 18.5	/ 0.7	18.5
	単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	・近隣にも同じ施設が存在している。 ・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウイルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウイルスの影響により目標値との乖離がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食肉センター機能の維持管理・運営は達成できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	食肉センターについては令和3年3月31日で運用を休止し、令和3年度は食肉センターの廃止に向け、条例等の廃止を行っており、令和4年度については予算計上を行わない。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	家畜市場運営事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210606	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市営家畜市場条例、福知山市営家畜市場規則、福知山市営家畜市場の書類等の様式に関する規則、福知山市営家畜市場飼料販売規程条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市営家畜市場を、仔牛・成牛の購買の場とし畜産振興に資する。					
対象者	畜産農家(牛)		対象者数	14	単位あたりコスト	260.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,297		1,443		1,515		1,883					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,297		1,443		1,515		1,883					
予算財源内訳	① 一般財源	86		232		339		766					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	1,211		1,211		1,176		1,117					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	1,297		1,443		0		0					
	③ 執行額	809		1,192		0		0					
	④ 執行率	62.4%		82.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.12	/	0.60	0.12	/	0.60	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,800		2,460		2,460		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,609		3,652		2,460		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	家畜市場使用料		種類	農林使用料		1,021		決算付属資料	10		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市内農家市場取引実績(年間)	頭	0	124 / 150	138 / 150	/ 150	150
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	中丹家畜市場取引実績(年間)	頭	553	459 / 590	461 / 590	/ 590	590
	単位あたりコスト		—	1.8	2.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	京都府唯一の家畜市場であり、年間約500頭の取引があり、繁殖農家・肥育農家にとって必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	年間1,000千円以上の使用料収入が見込め、支出バランスが効率的といえる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	全農京都からの実績報告に基づき、実績把握をしている。セリ市会場として開放することで、市内及び近隣畜産農家の利用が見込め、畜産振興として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中丹家畜市場の開場は、仔牛・成牛の購買の場として福知山の畜産振興に有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	市営家畜市場は、平成17年以降休場状態になっているが、全農京都により年間5回のセリ市が開催されているため、今後も継続して維持管理を行う。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	市内及び近隣の繁殖農家・肥育農家にとって、利便性が高く、施設の維持管理を今後も継続する。維持管理の簡素化と、維持管理費削減を図るため、場内不要樹木の伐採を予定している。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農林漁業者経営継続支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210581	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、農林漁業者が国の「経営継続補助金」を活用し、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組に対し、福知山市が上乗せ補助をすることにより、農林漁業者の経営の維持を図る。												
対象者	市内の農業者(2020農林業センサスデータ)					対象者数	3,081		単位あたりコスト	2.3			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	市内の農林漁業者が国の「経営継続補助金」を活用し、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組に対し、福知山市が上乗せ補助を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	5,393	農林漁業者経営継続支援事業補助金										

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0			0		0		
	② 補正予算	0		11,040	0		0		
	③ 繰越予算	0		△ 14,112	14,112		0		
	前年度繰越	0			14,112		0		
	次年度繰越	0		△ 14,112	0		0		
小計(①～③)		0		△ 3,072	14,112		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0	0		0		
	② 国支出金	0		△ 3,072	14,112		0		
	③ 府支出金	0		0	0		0		
	④ 地方債	0		0	0		0		
	⑤ その他特財	0		0	0		0		
決算情報	① 流充用額	0		8,474	0		0		
	② 配当予算	0		5,402	0		0		
	③ 執行額	0		5,393	0		0		
	④ 執行率			99.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00		0.22 / 0.00	0.22 / 0.00		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0		1,760	1,760		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		7,153	1,760		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農林漁業者経営継続支援事業(地方創生臨時交付金)		種類	農林業費国庫補助金	実績金額	5,393	20	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助件数	件		/	17 / 64	/ 64	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助対象者数	者		/	17 / 70	/ 70	
	単位あたりコスト				317.2		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援であり、補助率等は妥当である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援で、国補助への申請者を補助対象としている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	想定以上の申請があり、コロナ禍で生産、出荷が減少している農業者の支援が行われた。		
これまでの課題及び今後の方向性	緊急支援であることから、国の制度設計にももれが多く、農業者が戸惑われる事が多かった。今後も、災害に対する対応は短期間での制度設計、執行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がスムーズに支援を受けられるよう努める。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合
		(統合先事業名:)		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	強い農業・担い手づくり総合支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210580	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	強い農業・担い手づくり総合支援事業実施要綱(国)、福知山市強い農業・担い手づくり総合支援事業実施要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営体等の地域の担い手が、融資を活用して農業用機械・施設を導入し、主体的な経営発展を支援する。 ・経営規模が小規模・零細な地域において、意欲のある経営体を育成するため、必要となる共同利用機械等の導入を支援する。												
対象者	市内の農業者(2020農林業センサスデータ)					対象者数	3,081		単位あたりコスト	0.8			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	地域の中心となる経営体が、共同利用機械等を導入し、これに対し助成を行った(令和2年度1件2台)。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	1,617		強い農業担い手づくり総合支援事業費補助金									

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0				
	② 補正予算	0	1,617	9,832	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	1,617	9,832	0	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	1,617	9,832	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	1,617	0	0	0	0				
	③ 執行額	0	1,617	0	0	0	0				
	④ 執行率		100.0%								
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	800	0	0	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,417	0	0	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	強い農業・担い手づくり総合支援交付金		種類	農林業費府補助金		実績金額	1,617	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	導入機械数	台		/	2 / 2	/ 2	2
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成対象者数	者		/	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト				1617.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	過疎高齢化が進行し、小規模農業者が個人で機械導入することが困難ななか、共同利用機械等の導入に対する支援が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	事業完了後も導入機械の利用状況や組織の経営内容を調査し、補助金の有効活用を確認している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業用機械等の導入支援を行うことで、規模拡大等本市の農業振興に有効な事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業用機械の導入は継続した支援が必要である。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農業振興計画策定事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210579	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	農業振興地域整備計画							
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律、福知山市農村計画審議会規則												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農家の高齢化や有害鳥獣の被害等により不作付農地が拡大しつつある中、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき策定した「福知山市農業振興地域整備計画」に基づき、優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用及び農業施策の実施を図る。												
対象者	市民(世帯数)					対象者数	36,382		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社バスコ京都支店												
事業概要 (箇条書き)	令和2年度に見直しを行った農業振興地域整備計画に基づき、農用地区域の適切な維持管理及び開発防止を図るための指導等を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報償費	104	農村計画審議会委員報酬										
	需用費	145	土地利用計画図製本、事務用消耗品										
	委託料	220	農業振興地域管理システム保守業務										

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	7,498	527	376	376				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)		7,498	527	376	376				
予算財源内訳	① 一般財源	7,498	527	376	376				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	7,498	527	0	0				
	③ 執行額	3,280	469	0	0				
	④ 執行率	43.7%	89.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.30 / 0.00	0.48 / 0.00	0.48 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	3,840	3,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,680	4,309	3,840	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	審議会等開催数	回	1	0 / 1	1 / 1	/ 1	1
	農用地内の遊休農地割合	%	0.8	2 / 0	1.3 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	審議会等出席委員	人	14	0 / 0	13 / 18	/ 18	18
	単位あたりコスト		210.9		36.1		
	計画変更(一般管理)	件	2	1 / 3	0 / 0	/ 3	3
	単位あたりコスト		1476.2	3280.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・農林業全般にわたる計画に関する事項、その他重要事項の調査及び審議を行う機関として市が取り組む必要がある。 ・農業振興地域整備に関する法律に基づく業務として行政が行う必要がある事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・必要最低限の会議運営費のみで実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・審議会での意見などを参考にして各種施策へ反映するという手段は有効的である。 ・各種農業振興事業の基本方針となる計画であり、有効性は高い。 ・すべての農地の振興を図ることは困難であるため、振興を図るべき農地を線引きすることは有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度に福知山市農業振興地域整備計画の見直しを実施し、守るべき農地を明確にした。今後、本計画を本市の農業振興の指針として活用する。		
これまでの課題及び今後の方向性	・圃場整備等公的資源が投入されている農業の振興を図るべき農振農用地であっても、担い手の高齢化や過疎化から、農地の保全や有効利用が困難になっている。今後は担い手の確保の状況を踏まえながら、守るべき農地をさらに絞る必要があるかを検討し、より情勢に応じた計画となるよう次期見直しに向けた整理を行う。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用を推進するため、農用地区域の適切な維持管理及び開発防止を図るための指導等を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	多面的機能支払交付事業															
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	210576	款	06 農林業費		項	01 農業費		目	03 農業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める												
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和3年度		関連計画名										
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、多面的機能支払交付金実施要領、農と環境を守る地域共同活動支援事業交付金交付要綱、福知山市多面的機能支払交付金交付要領															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農地・農業用水等の保全管理のための地域の共同活動や自然環境の保全に資する農業生産活動を推進することにより農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。				
対象者	多面的機能支払交付事業活動組織	対象者数	54	単位あたりコスト	3,195.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	171,615		164,943		174,887		176,518				
	② 補正予算	△ 6,506		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		165,109		164,943		174,887		176,518				
予算財源内訳	① 一般財源	43,050		41,536		43,868		44,335				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	122,059		123,407		131,019		132,183				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 25		△ 1		0		0				
	② 配当予算	165,084		164,942		0		0				
	③ 執行額	163,844		163,678		0		0				
	④ 執行率	99.2%		99.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	1.00	/	0.32	1.01	/	0.32	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	8,800		8,880		8,880		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		172,644		172,558		8,880		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	多面的機能支払交付事業補助金			種類	農林業費府補助金	実績金額	122,767		決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	共同活動の取組面積	ha	2012	1966 / 2100	1982 / 2100	/ 2100	2100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	活動組織数	組織	51	52 / 52	54 / 51	/ 51	51
	単位あたりコスト		3277.6	3150.8	3031.1		
				/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	非農業者を含む地域活動組織が、農業資源の保全活動や農村環境の向上活動を行うことにより、農業振興の推進と人材育成に寄与する。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	交付金交付対象面積が大きいため、要綱に定められた現地確認を行うために多くの人と時間が必要になるが、地図情報システムの活用や中山間地域等直接支払交付事業との連携等により、効率化、省力化に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	地域における施設等の保全管理及び共同活動を行うことにより、将来にわたり農地、水路、農道などを地域で守っていくための地域づくりに有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業であり、近年、高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、有効な対策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	過疎化、高齢化などによる耕作放棄地や遊休農地などの増加が懸念され、その影響が心配されるが、今後も新規取組地域を増やす等により、取組面積の拡大を目指す。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	共同活動の取組等を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため事業を継続する

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業振興推進事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210569	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	－							
根拠法令等	－												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域における農業政策の検討と円滑な推進を図る。				
対象者	農区長	対象者数	248	単位あたりコスト	39.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	5,169		8,042		8,070		8,013			
	② 補正予算	0		200		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
		前年度繰越	0		0		0		0		
		次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)		5,169		8,242		8,070		8,013		
予算財源内訳	① 一般財源	5,169		8,242		8,070		8,013			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	195		0		0		0			
	② 配当予算	5,364		8,242		0		0			
	③ 執行額	5,310		7,010		0		0			
	④ 執行率	99.0%		85.1%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,200		2,720		2,720		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,510		9,730		2,720		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	活動に協力した農区長数	人	248	248	/	248	248	/	248	248
				/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	農区長会開催数	回	3	1	/	3	0	/	3	3
	単位あたりコスト		1809.0	5309.6						
				/		/		/		
	単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農区長に対する事務委嘱要綱で市の事務を委嘱することにより、本市農業政策を地域に浸透させるために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	農区のネットワークを活用し、各農業者に対して効率的な情報収集、伝達が実施できている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	農区長に対して、農業関連課から様々な依頼を1年を通じて行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の農業政策の検討と円滑な推進を図るために、地域の農区長の協力が不可欠であるため、継続して事業が実施出来ている。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業後継者の不足や高齢化により農区長が農業に従事していなかったり、毎年交代されたりする中、地域の農業委員や農地利用最適化推進員、また集落営農などの農業法人とも連携することで、地域に対する農林行政等の情報発信が出来るようにしていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	☐ 農区長の位置付け、必要性、依頼事務について検討を進める。 ☐ 農区長会開催の是非、事務の軽減を検討中。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中山間地域等直接支払交付事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210568	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、中山間地域等直接支払交付金実施要領、京都府中山間地域等直接支払交付金等交付要領、福知山市中山間地域等直接支払交付金交付要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農業生産活動の継続を推進することにより、農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。				
対象者	集落協定締結団体	対象者数	64	単位あたりコスト	2,009.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	129,118		127,570		119,380		122,958						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		129,118		127,570		119,380		122,958						
予算財源内訳	① 一般財源	36,718		32,898		32,460		33,494						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	92,400		94,672		86,920		89,464						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 134		1		0		0						
	② 配当予算	128,984		127,571		0		0						
	③ 執行額	127,564		120,316		0		0						
	④ 執行率	98.9%		94.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.85	/	0.32	0.94	/	0.32	0.94	/	0.32	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	7,600		8,320		8,320		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		135,164		128,636		8,320		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	中山間地域等直接支払交付事業補助金		種類	農林業費府補助金		実績金額	87,754		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	協定による農地保全面積	ha	941	944 / 1010	862 / 1010	/ 1010	1010
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	集落協定数	協定	67	67 / 67	64 / 67	/ 67	67
	単位あたりコスト		1876.5	1903.9	1879.9		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中山間地域の条件の不利益な農用地を所有、管理する農業者の所得格差の是正や高齢化・農業離れによる荒廃農用地の増加を抑制するために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	交付金交付対象面積が大きいこと、要領に定められた現地確認を行うためにはある程度の人手と時間が必要になるが、地図情報システムの活用等により時間短縮、省力化に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	交付金の使途を限定していないことから、農地の共同管理のための共同機械の購入や有害鳥獣対策の防護柵の設置など直接農業に関わる取組だけでなく、農業を利用した都市間交流や特産物販売、イベント等の実施により地域農業の維持・活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度より第5期対策がスタートしたが、第4期対策(H27～R1)と比較し協定数が3協定、協定面積が82ha減少している。特に中山間地域においては高齢化による担い手不足が深刻であり、守るべき農地を選定しながら地域全体を維持する方向へとシフトしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	中山間地として農地の保全・管理維持をしていくためには有害鳥獣対策が依然として課題となっているが、交付金を積極的に活用し耕作放棄地の発生防止に努める。 高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、今期の第5期対策より交付金返還措置の見直しや加算措置の新設等、農業者が安心して取り組めるよう事業の見直しがされており、これらの制度改正を広く周知し、本事業を取りやめた集落協定の再取組を促すほか新たに事業に取り組む集落の掘り起こしを行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	農業生産条件が不利な地域の農業生産活動の継続を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため事業を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	農林水産業新型コロナウイルス対策緊急支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所屬長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210509	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症により出荷・販売等の経済活動に大きな影響を受けた農林水産業者の、京都府「中小企業等新型コロナウイルス対策緊急支援事業(農林水産業)」を活用した出荷・販売の回復等につなげる経営改善の取組に対し、上乗せ補助をすることにより、早急な経営回復を支援する。				
対象者	京都府「中小企業等新型コロナウイルス対策緊急支援事業(農林水産業)」を活用した農林漁業者	対象者数	10	単位あたりコスト	450.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0				0		0					
	② 補正予算	0		500		0		0					
	③ 繰越予算	0				0		0					
	前年度繰越	0				0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		0		500		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		500		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		332		0		0					
	② 配当予算	0		832		0		0					
	③ 執行額	0		828		0		0					
	④ 執行率			99.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.46	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		3,680		0		0			0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		4,508		0		0			0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	農林水産業新型コロナウイルス対策緊急支援事業(地方創生臨時交付金)		種類	農林業費国庫補助金		実績金額	828		決算付属資料	20	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助件数	件		/	10 / 5	/	—
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助対象者数	者		/	10 / 5	/	—
	単位あたりコスト				82.8		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援であり、補助率等は妥当である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援で、府補助への申請者を補助対象としている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	想定以上の申請があり、コロナ禍で生産、出荷が減少している農業者の支援が行われた。		
これまでの課題及び今後の方向性	緊急支援であることから、府の制度設計にももれがあり、農業者が戸惑われる事が多かった。今後も、災害に対する対応は短期間での制度設計、執行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がスムーズに支援を受けられるよう努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍の影響を受ける農林水産業者に対してその経営の改善を目的としており必要な事業である。 ・京都府への申請事業者を対象に支援したものであるが、市内事業者への周知が充分であったか検証が必要ではないか。 ・補助金を交付するだけでなく、農林水産業者の出荷・販売の回復、経営改善の取り組みに対する支援であり、支援者の回復状況の調査が必要と考える。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			
--------	--	--	--	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマート農林水産業実装チャレンジ事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210508	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	－							
根拠法令等	福知山市スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金交付要綱、スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金交付要領(府)												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過疎高齢化による農林水産業の担い手減少に対応するため、AI・ICT(情報通信技術)等先端技術の生産現場への実装を加速化し、作業性及び品質・生産性を向上することにより、農林水産業の成長産業化、魅力向上及び農山漁村コミュニティの維持を目指す。					
対象者	法人、集落営農組織、認定農業者		対象者数	6	単位あたりコスト	2,280.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		10,590		20,140		11,902					
	② 補正予算	15,324		2,042		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	15,324		12,632		20,140		11,902					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		8,100		4,000					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	15,324		12,632		12,040		7,902					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	22		0		0		0					
	② 配当予算	15,346		12,632		0		0					
	③ 執行額	15,345		12,403		0		0					
	④ 執行率	100.0%		98.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.85	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	6,800		1,280		1,280		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		22,145		13,683		1,280		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スマート農林水産業実装チャレンジ事業		種類	農林業費府補助金		実績金額	12,403		決算付属資料	28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	機械導入台数	台	-	6 / 6	5 / 5	/ 5	-
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成組織数	組織	-	5 / 5	5 / 5	/ 5	-
	単位あたりコスト		-	3069.0	2480.6		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	過疎高齢化が進行するなかで、担い手の確保・育成のためにはICT技術を活用した農業用機械等の導入に対する支援が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。労働力が限られているなかで、機械を導入することにより、作業の効率性と品質・生産性の向上につながるため。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができた。予定通りの団体に支援を実施することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業用機械等の導入は担い手の大きな負担になる。 農業の後継者不足や高齢化が課題となる中、スマート農業機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できるため、今後も継続して支援を行う必要がある。 補助対象者の採択は府が行うため市が予算化・要望してもその通り補助することができない。 市独自の事業として、モデル地区を選定しAI・ICT等のスマート技術を活用した、農作物の集出荷にかかる実証実験を実施する予定。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	農業の省力化、効率化を推進するために引き続き事業を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(農区)												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210502	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174・176	頁
施策体系	施策コード	60103	施策名	スマートシティの実現									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市では、Society5.0社会へ対応しスマートシティを実現することにより、住民福祉や利便性の向上を目指すとともに、withコロナ時代の新しい生活様式への転換を図るため、様々な行政サービスの効率化を進めている。 このような中、今後の行政サービスのデジタル化・オンライン化の急速な進展を見据え、本市行政の推進に恒常的に連携・協力いただいている農区をモデルとして、行政サービスデジタル化への課題等を整理・検討する事業を実施する。						
対象者	モデル農区			対象者数	7	単位あたりコスト	306.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	967	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
小計(①～③)		0	967	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	967	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	967	0	0	0	0	0
	③ 執行額	0	782	0	0	0	0	0
	④ 執行率		80.9%					
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.17 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	1,360	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	2,142	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティ推進事業(農区)(過疎地域等自立活性化推進交付金)		種類	農林業費国庫補助金	実績金額	774	20
							決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	タブレット配布農区数	農区		/	7 /	/	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	説明会開催	回		/	6 /	/	
	単位あたりコスト				130.3		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	世界的なICTの発達やスマートシティの概念が浸透してきつつある中、行政とのやり取りを効率的に進めるニーズは高いと考えている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	会議などよりモットが推進されるコロナ禍の時代にあって、行政から効率化を図っている当事業はコスト的にも妥当だと考えている
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	タブレット端末に不慣れな農区長の方でも使用していただけるよう、丁寧な講習会を開いて指導できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	タブレット端末の使用は今後の展開となるが、積極的な活用が見込まれると考えている		
これまでの課題及び今後の方向性	令和3年度以降はスマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)と統合し、通信費や交代した農区長などに対する講習会を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事中評価コメント	・タブレットに関しては、利用頻度を上げる工夫が必要と感じる。今後、モデル期間中(～令和4年度)で、現状以外での利活用方法や他団体との連携など新たな可能性の模索と合わせて効果検証が必要である。 ・モデル農区での取組や成功事例を他地区でも共有していただきたい。 ・タブレットで送付するコンテンツや双方向でやりとりできる仕組みの検討が必要である。 ・有害鳥獣の生息地や農業への被害などの市内マッピング化、見える化は意義があると考えているが、タブレットの有効活用は図れておらず、今後の展開が見えにくい。 ・令和4年度までの実証事業であるので、令和5年度以降の進め方については、予算編成までに然るべき判断材料をもって検討をお願いしたい。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和3年度でスマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)と統合した。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新集落営農総合対策事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所屬長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210464	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	新集落営農総合対策事業実施要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☐ 継続中 ☒ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農業従事者の高齢化による労働力不足を補うため、農業機械の導入を行い、さらに、ソフト事業により広報等を展開することにより、地域特産物の生産・加工や販売をス行うための支援をし、農家所得の向上を図る。												
対象者	農業法人、営農組織					対象者数	1		単位あたりコスト	6,069.0			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	集落営農組織等												
事業概要 (箇条書き)	・生産・加工等に対する作物栽培に必要な農業機械導入に対する支援を行った(R2年度トラクター1台)。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	3,349		新集落営農総合対策事業(集落ビジネス支援事業)補助金									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0				0		0						
	② 補正予算	0		3,350		0		0						
	③ 繰越予算	0				0		0						
	前年度繰越	0				0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		3,350		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		3,350		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	0		3,350		0		0						
	③ 執行額	0		3,349		0		0						
	④ 執行率			100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		2,720		0		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,069		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新集落営農総合対策事業		種類	農林業費府補助金		実績金額	3,349		決算付属資料	30		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	加工品栽培面積	ha		/	0.6	/	-
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成組織数	組織		/	1	/	-
	単位あたりコスト				3349.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	集落営農存続には、1次産業だけでなく、6次産業化を目指すことが重要であり支援が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は他事業と比較しても妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	集落内での担い手の強化、活性化につながっている。導入機械の利用状況を把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域特産物の生産・加工や販売をス行うためには、大型機械が必要であり、支援することで集落営農組織の存続、強化に有効である。 また、加工品を作ることで、安定的な収益を得ることが期待できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業機械の購入は、営農組織等にとって大きな負担となっていることから、今後も、支援していくことで、6次化を進める組織の生産性の向上、経営改善を促すことが出来る。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林業の担い手支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210463	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	緑の担い手育成事業費補助金交付要綱、福知山市林業労働者新共済事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合など)の作業員を安定的に確保・雇用するため、新規就労者に対する助成及び、労働環境改善に対する経費、並びに作業員の退職金掛金の一部を助成する。					
対象者	林業労働者		対象者数	23	単位あたりコスト	122.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,855		2,612		2,398		10,846						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		2,855		2,612		2,398		10,846						
予算財源内訳	① 一般財源	1,946		1,716		1,666		9,328						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	909		896		732		1,118						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		400						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	2,855		2,612		0		0						
	③ 執行額	2,116		2,019		0		0						
	④ 執行率	74.1%		77.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.11 / 0.00	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	880		800		800		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,996		2,819		800		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	林業の担い手支援事業(緑の担い手育成)		種類	農林業費府補助金		実績金額	585		決算付属資料	30		頁
			林業の担い手支援事業(林業労働者新共済)			農林業費府補助金			143			30		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	243/ 544	266 / 565	集計中 / 587	/ 587	587
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	対象作業員数	人	25/ 41	21 / 39	23 / 41	/ 30	41
	単位あたりコスト		85.2	100.7	87.8		
	新規就労者	人	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		1065.5	1057.9	1009.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	林業の作業員確保は喫緊の課題であり、森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合など)の作業員を安定的に確保・雇用するために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助対象経費の根拠となる詳細な資料の提出を求め、コストを考慮し審査を行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	新規就労者に対する助成や労働環境改善に対する経費の助成等を行い、森林整備を推進している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度において、新規就労者が2名(森林組合1名、林業事業者1名)となり、昨年度と比較すると作業員数は増加した。ただし、令和2年度末において、退職者が1名いる。		
これまでの課題及び今後の方向性	新規の就労者は一定確保できているものの、その数を上回る退職者がいる年度もある現状である。特に高齢化等によるベテラン層の退職も見られるため、全体の技術力の減少も課題の1つである。 就労者支援による就労者の確保と同時に技術力の確保に対する支援も検討を視野に入れ、事業者等との協議を進め、必要な支援を検討していく。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	市内事業体の雇用者増加を目指すため、インターン生を市内事業体に誘致することを目的とした補助金を新たに設置する方向で検討する。 自伐型林業に関するフォーラムの開催や研修を行うなどの取り組みにより、新たな林業の担い手創出のきっかけづくりを目指す。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合
		(統合先事業名:)		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業者経営復興特別支援資金等償還助成事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210462	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名								
根拠法令等	農業者経営復興特別支援資金等償還助成事業実施要領(府)、農業者経営復興特別支援資金等償還助成金交付要綱(市)												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	H25年台風18号等により被災した方が、営農を断念することなく引き続き継続することが目的である。											
対象者	京都府等から資金を借りた者					対象者数	8		単位あたりコスト	100.0		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等	資金借入者											
事業概要 (箇条書き)	H25年台風18号等の被災時に京都府の復興・継続支援資金を借り入れた者へ償還助成を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	320		農業者経営復興特別支援資金等償還助成金								

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	320	1,920	1,600					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)		0	320	1,920	1,600					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	320	1,920	1,600					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0					
	② 配当予算	0	320	0	0					
	③ 執行額	0	320	0	0					
	④ 執行率		100.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	480	480	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	800	480	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業者経営復興特別支援資金等償還助成金		種類	農林業費府補助金	実績金額	320	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	償還対象者の営農継続	経営体		/	8 / 8	/ 8	8
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成実績	件		/	1 / 1	/ 6	6
	単位あたりコスト				320.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農業所得が低迷しているなかで、大規模自然災害に対して復興し食糧生産を継続するためには必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	京都府等が被災農業者への貸付時に設定していた助成割合である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	京都府等が被災農業者への貸付時に約束していたことであり、営農の継続が助成の条件となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	被災後順調に復興し、営農を継続されている。		
これまでの課題及び今後の方向性	要綱に基づき、営農の継続を確認したうえで、全ての償還が終了するまで助成を継続する。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	要綱に基づき、営農継続を確認したうえですべての償還が終了するまで助成を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農地活用支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210461	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	-	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	荒廃農地等利活用促進交付金実施要綱、遊休農地等流動化促進事業実施要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☐ 継続中 ☒ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	食料の安定供給の確保と農地の多面的機能を発揮するため、農地の確保と保全を図ることを目的とした荒廃農地の発生防止や再生利用の取組等を支援する。												
対象者	農業者(農家台帳調査戸数)						対象者数	6,688		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	一定以上の荒廃(復旧経費に10,000円/10a以上を要する)がみられる農地を、再生利用するための取組に対し、70,000円/10aを補助する。事業実施後、5年間の営農利用が必要。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	1,400		700		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
		前年度繰越	0		0		0		0		
		次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		1,400		700		0		0			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		200		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	1,400		500		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決 算 情 報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	1,400		700		0		0			
	③ 執行額	0		0		0		0			
	④ 執行率	0.0%		0.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.04	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	320		0		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		320		0		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	荒廃農地(A分類)面積	ha	0	0 / 30	0 / 0	/ -	30
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	荒廃農地再生面積	a	0	0 / 300	0 / 0	/ -	300
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	耕作放棄地が増加する中、これを再生する取組は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	耕作放棄地を復旧するために自己負担を投入するより、営農できなくなった農地を引き受けて耕作を継続するほうが優先される。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	実績なし
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度において国の補助事業から京都府の補助事業となり、補助金上限額の変更があったことで想定していた事業実施者が事業活用をされなかった。 また、令和2年度においても事業活用者がなかった。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業で支援している耕作放棄地の再生よりも、今後は、耕作放棄地を増加させない取組の強化にニーズが以降しているため、本事業は令和3年度より休止とし、新たな耕作放棄地対策に有効な事業実施の検討を行うとともに、農地活用や荒廃農地の再生利用に取り組む各地区の取組を支援する。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農地中間管理事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210460	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166・168	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、福知山市農地中間管理事業交付金交付要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を加速する。					
対象者	農業者(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	3.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,560		5,339		2,544		1,954					
	② 補正予算	△ 3,965		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		3,595		5,339		2,544		1,954					
予算財源内訳	① 一般財源	2,226		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	730		4,695		1,900		1,610					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	639		644		644		344					
決算情報	① 流充用額	0		△ 2,873		0		0					
	② 配当予算	3,595		2,466		0		0					
	③ 執行額	2,919		825		0		0					
	④ 執行率	81.2%		33.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.17	/	1.50	0.91	/	0.88	0.91	/	0.88	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	5,110		9,480		9,480		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,029		10,305		9,480		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	農地中間管理事業補助金		種類	農林業費府補助金		532		決算付属資料	30		頁
			農地中間管理事業受託事業収入			農林業費受託事業収入		293			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	機構への農地集積面積	ha	67.4	26.4 / 100	10.2 / 100	/ 100	100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	地域集積協力金	地域	8	3 / 5	3 / 5	/ 5	5
	単位あたりコスト		213.5	972.9	275.0		
	集積仕掛け人	人	2	0 / 3	1 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		854.0	—	825.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農業者の高齢化・耕作放棄地の拡大が進む中で、地域農業を支える担い手に農地を集積し・集約し、効率的で安定した農業を行う必要性は高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	利用権設定に必要な書類の作成事務に関して、市と農地中間管理機構で役割分担をすることで事務の効率化を図っている
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	年間の集積面積は目標に対し低い実績となっているが、農地の所有者や農区に対し農地集積へのインセンティブとなる事業であり、毎年度の積み重ねにより集積面積は着実に増加している
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農地中間管理機構による農地集積は進んでいるが、目標とする年間100haの農地集積には届いていない		
これまでの課題及び今後の方向性	・令和元年度に制度が改正され、地域集積協力金の単価が減少し、本事業を活用するメリットが薄れている。京力農場プランの実質化に向けた取り組みと連携しながら、更なる農地集積を進めていく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	担い手への農地集積・集約化を図るため、本事業を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	稼げる農業応援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210453	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市国際水準GAP認証取得支援補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	自ら「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業が魅力的な就業先の一つとなることを目指す。				
対象者	農業者(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,220		5,881		13,807		7,083						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		10,220		5,881		13,807		7,083						
予算財源内訳	① 一般財源	8,476		3,132		7,179		7,083						
	② 国支出金	1,744		2,749		6,628		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 54		0		0		0						
	② 配当予算	10,166		5,881		0		0						
	③ 執行額	8,283		3,691		0		0						
	④ 執行率	81.5%		62.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.53	/	0.00	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	4,240		3,200		3,200		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,523		6,891		3,200		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	稼げる農業応援事業(地方創生推進交付金)		種類	農林業費国庫補助金		実績金額	1,773		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	農業所得が対前年度比5%UPした認定者	人	3	0 / 11	集計中 / 17	/ 17	17
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	エエもん認定品	品	4	7 / 3	6 / 6	/ 6	6
	単位あたりコスト		835.0	1183.2	615.2		
	GAP認証を取得する農業者	経営体	1	1 / 2	0 / 2	/ 3	3
	単位あたりコスト		3339.9	8282.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農業で生計を立てるのが難しく、後継者が激減する中、経営の観点でやる気を持って稼げる農業に取り組もうとする農業者に対して支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業を就業先の一つとして考える若者が増えることを目指すものであり、優先度が高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	審査員として関わった専門家から、認定品のブラッシュアップだけでなく、SNSでの発信や、自身のレストランでの使用など、市の販路拡大の取組以上の成果を得ている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	認定を受けた品について、前年度より問い合わせや引き合いが多くあり、有効な取り組みである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	☐ 福知山のええもん発掘事業 ・令和2年度：応募件数19件。その中から6品目を認定した。 ・令和元年度：応募件数67件。その中から7品目を認定した。 ・平成30年度認定品に対する令和元年度の取組：認定した4品について、東京都の商談会に出品し販路拡大に取り組んだ。 ☐ GAP認証取得支援事業 ・平成30年度・令和元年度 各1経営体が認証を取得。 - 現在1経営体が認証取得に向け経営・管理の見直しを行うなどし準備中ではあったが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の取得は見送られた。		
これまでの課題及び今後の方向性	☐ ふくちやまのええもん発掘事業 ・平成30年度から令和2年度までの3年間の実績を踏まえ、更なる認定品のPR戦略を立てる必要がある。 ・市内で販売促進につながる展示・販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信が必要。 ・都市部での販路拡大を行うための商談会について、どの商談会を選定するのが有効かの情報収集が必要。 ・認定品に対する需要に対して、生産体制に限界があり、今以上の生産の増加が見込めなくなっている。 ☐ GAP認証取得支援事業 ・GAP取得は直接商品の高価格化に直結するものではないことから、GAP認証について消費者の理解を広げる必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	委託料については、事業の進捗なども見極めたうえで減額を行う ふくちやまのええもんを購入できる場所を提供する

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	新規就農総合支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210445	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	農業人材強化総合支援事業実施要綱、京都府就農研修資金償還金助成事業実施要綱、担い手養成実践農場整備支援事業実施要領、福知山市農業次世代人材投資事業実施要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図る。あわせて、若者への就農意欲の喚起と新規就農者の定着により、農業就業者数の増加及び農業就業者の若返りを図る。					
対象者	新規就農者等		対象者数	33	単位あたりコスト	710.9
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	27,610		19,820		22,966		21,458			
	② 補正予算	△ 9,100		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		18,510		19,820		22,966		21,458			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	17,880		18,910		19,075		15,904			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	630		910		3,891		5,554			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	18,510		19,820		0		0			
	③ 執行額	18,510		18,420		0		0			
	④ 執行率	100.0%		92.9%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	1.22	/	0.48	0.48	/	0.48	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	10,960		5,040		5,040		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		29,470		23,460		5,040		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新規就農総合支援事業補助金		種類	農林業費府補助金		実績金額	17,085		30
			ふるさと納税基金繰入金			基金繰入金			1,335		
								決算付属資料	42	頁	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	新規就農者の営農継続者数	人	31	32	/ 30	33	/ 30	/	30	30
	人材投資資金新規受給者数	人	3	0	/ 5	2	/ 5	/	5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	研修農場の設置	箇所	1	1	/ 3	3	/ 3	/	3	3
	単位あたりコスト		24532.0	18510.0		6140.0				
	研修資金償還助成対象者数	人	2	0	/ 0	1	/ 1	/	2	-
		単位あたりコスト	12266.0			18420.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農業就業人口の増加と農業就業者の若返りを図るために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	新規就農者・青年就農者を支援するために、就農者の生活支援として効率性の高い事業である。主に国・府の事業であり、他市と比較した際の負担の差はない。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	新規就農者・青年就農者を支援することで、今後の本市の農業を担う者を増やし育てるため有効な支援である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業を志す人を対象に、経営開始前の研修事業による支援や、経営開始後は、就農直後の不安定な経営に対する資金面での支援の他、サポート体制を整備し定期的な訪問を行うことにより、新規就農者の育成・定着に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図るため、本事業を継続する。また、移住定住施策担当課と連携し、新規就農者の確保・定着を図る。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	高齢化等に伴い担い手が減少する中、農業後継者・新規就農者・中核的担い手の確保及び育成を図るため本事業を継続する。 農業次世代人材投資資金については、国の大幅な制度改正が見込まれるため、事業対象や事業内容を確認しながら制度活用者の掘り起こしを図る。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	認定担い手農家育成助成事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210443	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	認定担い手農家育成助成金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	担い手農家への農地集積を進めることで、経営規模拡大と効率化を支援し、担い手農家の経営の安定を図る。				
対象者	認定農業者	対象者数	159	単位あたりコスト	20.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,400		2,110		2,110		2,400					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		2,400		2,110		2,110		2,400					
予算財源内訳	① 一般財源	2,400		2,110		2,110		2,400					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	458		339		0		0					
	② 配当予算	2,858		2,449		0		0					
	③ 執行額	2,858		2,449		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.06	/	0.20	0.03	/	0.20	0.03	/	0.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	980		740		740		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,838		3,189		740		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	認定担い手農家育成助成事業(きょうと地域連 携交付金)	種類	農林業費府補助金		実績金額	1,210		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	担い手農家農地集積率	%	22.2	23.5 / 30	24.4 / 30	/ 30	30
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	農地集積面積	ha	25.3	28.7 / 20	24.5 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		99.7	99.6	100.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農地の荒廃化防止において地域における担い手農家への期待は大きく、農地を守っていくために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	認定担い手に対し、利用権設定面積を拡大した場合に交付しているもので、10aあたり10,000円としており、効率性のある妥当な支援である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	担い手農家の経営規模の拡大を支援することにより、さらに農地集積を加速化させ農地の荒廃化を防止するために有効な支援である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	過疎高齢化により農地保全に対する担い手農家への期待は高く、耕作放棄地を増やさないためにも担い手への農地集積は重要である。本事業は、担い手農家の農地集積を後押しする事業として、地域農業の維持に対し確実に成果をあげている。より農地集積に効果的な支援とするため、令和元年度に制度改正を行い、交付対象を前年に6年以上の利用権設定した面積(解約や機関満了し減少したものが反映されない)から、担い手ごとの総利用権設定面積の年間における増加分を対象とした。		
これまでの課題及び今後の方向性	担い手が高齢化している中、集落営農組織等の担い手登録や育成、法人化の推進により、担い手を維持確保することが重要である。本事業を継続していくことで、担い手の農地集積・規模拡大を後押しし、農地の維持を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	認定担い手農家の経営規模拡大の意欲を高め、耕作面積の拡大を図り農地集積を推進するため本事業を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地場産農産物推進事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210337	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060105	施策名	地産地消を推進する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市地産地消推進計画							
根拠法令等	学校給食地場野菜導入支援事業実施要領、学校給食導入野菜出荷資金造成事業実施要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地場産農産物(福知山産農産物)の生産と需要の拡大を図るため、地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進する。					
対象者	農業者数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,802		4,734		5,364		6,068					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	1,802		4,734		5,364		6,068					
予算財源内訳	① 一般財源	0		4,734		5,364		6,068					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	1,802		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		702		0		0					
	② 配当予算	1,802		5,436		0		0					
	③ 執行額	1,138		5,436		0		0					
	④ 執行率	63.2%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.07	/	0.29	0.18	/	0.29	0.18	/	0.29	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,285		2,165		2,165		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,423		7,601		2,165		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地場産農産物推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	農林業費府補助金		2,686		28	頁		
						実績金額		決算付属資料					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	学校給食への地場野菜納入率	%	13	17	/	23	14	/	23	23
	学校給食への福知山産米納入率	%	100	100	/	100	100	/	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	学校給食センター地場産野菜導入支援品目	件	20	21	/	37	20	/	37	37
	単位あたりコスト		242.4	54.2		271.8				
				/		/		/		
	単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地場産農作物の生産と需要の拡大を図るため、地産地消を推進することは農業者への支援のみならず、食育等教育の観点からも必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	学校給食への地場産米導入支援に関しては、ブレンド米と福知山産米の価格差を負担しており、基準は明確である。 地場野菜導入支援に関しては、納入価格の1/2を補助金として交付しておりその他の補助事業と比較して妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	農産物生産者が農産物の納入先として学校給食を選択することを促す効果があり、地場産農物の導入の促進に有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地場産農産物(福知山産農産物)の生産と需要の拡大を図るため地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進するため、主として学校給食への地場産農産物の導入を支援し、食育と需要拡大の両面から地場産農産物振興に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	学校給食への地場野菜の納入率(重量ベース)がほぼ横ばいであるため、野菜生産者に対して事業周知を図るとともにエコファーマー認定者の拡大に取組み、学校給食への納入者を増加させることで納入数量の増加につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	経営所得安定対策等推進事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210255	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	京都府経営所得安定対策等推進事業実施要項、福知山市経営所得安定対策等推進事業実施要項、福知山市地域農業再生協議会補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国の経営所得安定対策事業を有効活用することにより、本市の農業の振興を図る。				
対象者	農家数(水稻共済加入申込書兼営農計画書)	対象者数	6,350	単位あたりコスト	2.8
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,413		9,414		9,414		10,096			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
	小計(①～③)	9,413		9,414		9,414		10,096			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	9,413		9,414		9,414		10,096			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	9,413		9,414		0		0			
	③ 執行額	9,319		9,318		0		0			
	④ 執行率	99.0%		99.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.77	/	0.16	1.02	/	0.16	1.02	/	0.00	0.00
	② 概算人件費	6,560		8,560		8,560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,879		17,878		8,560		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	経営所得安定対策等推進事業補助金		種類	農林業費府補助金		9,318		30	頁
						実績金額		決算付属資料			

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	不作付け水田の面積	ha	702	754 / 650	796 / 650	/ 650	650
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	経営所得安定対策加入者数	人	798	608 / 1200	470 / 1200	515 / 1200	1200
	単位あたりコスト		11.1	15.3	19.8		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	国の施策である経営所得安定対策事業を本市において運営するために必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	地域農業再生協議会に補助金を支出し、書類作成等の事務に関して効率的に行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	高齢化や離農により農業者が減少傾向にある中で、需要に応じた生産・販売に向けて積極的に取り組むために、土地利用型農業の経営安定が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業者数が減少しており、不作付け水田の増加傾向に歯止めがかかっていないが、転作作物の所得確保に一定の役割を果たしており本市の農業振興につながっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	(課題) ・年々、高齢化や離農によって申請者が減少傾向にある。 ・不作付地の面積が増加している。 (方向性) ・不作付地の増加を抑えるために、戦略作物(麦・飼料作物・加工用米など)などの、より効率的に面積確保しやすい作物への上乗せ助成を検討する。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	引き続き国の要綱に従って事業を継続する

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	畜産経営安定化支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210253	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	家畜人工授精事業補助金交付要領、家畜伝染病予防推進事業交付要領、優良牝牛導入促進事業補助金交付要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	畜産農家の経営安定を目指すため、人工授精、伝染病予防、優良牝牛導入に係る経費の一部を助成する。				
対象者	農業協同組合	対象者数	2	単位あたりコスト	1,334.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,098		1,068		1,130		1,181						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
	小計(①～③)	1,098		1,068		1,130		1,181						
予算財源内訳	① 一般財源	1,098		1,068		1,130		1,181						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	1,098		1,068		0		0						
	③ 執行額	1,029		1,048		0		0						
	④ 執行率	93.7%		98.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.14	/	0.20	0.14	/	0.20	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,760		1,620		1,620		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,789		2,668		1,620		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	牛の頭数	頭	335/400	341 / 400	330 / 400	/ 400	400
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	実施頭数(人工授精+伝染病予防)	頭	595	425 / 400	452 / 400	/ 400	400
	単位あたりコスト		1.8	2.4	2.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	肉牛の生産基盤を保持するため、畜産農家の経営改善につながる本事業は、社会のニーズを的確に捉えた必要性の高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	家畜伝染病が市内で発生した場合、畜産農家の経営状況は著しく悪化すると考えられるため、防疫を行うことが最小限のコストとして効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	家畜改良により畜産農家の経営安定化を図ることで、家畜の増頭意欲向上につながるため有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	優良な仔牛生産に有効な政策であり、人工授精・伝染病予防・優良牝牛導入について、畜産農家の経営安定を目指すための支援を行うことができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	畜産農家の経営安定のため引き続き支援が必要である。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	畜産農家の経営安定を図ることで、飼養頭数の増加や後継者不足の解消が見込めるため、今後も実績に応じた補助金交付を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合
	(統合先事業名:)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	茶業振興対策事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210239	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	茶業振興対策事業実施要領(市・府)												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	被覆棚等の茶生産設備の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより茶業経営の安定を図り、本市の茶業振興を図る。												
対象者	市内茶生産農家						対象者数	12		単位あたりコスト	204.6		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	市内茶生産農家												
事業概要 (箇条書き)	・製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図ることを目的に、施設整備に対し助成を実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	1,085		茶業振興対策補助金1,010、両丹お茶まつり開催負担金75									
	報償費	250		茶品評会出品奨励金									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	1,044		1,769		2,118		4,512								
	② 補正予算	0		0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0								
小計(①～③)		1,044		1,769		2,118		4,512								
予算財源内訳	① 一般財源	744		809		1,158		1,178								
	② 国支出金	0		0		0		0								
	③ 府支出金	300		960		960		3,334								
	④ 地方債	0		0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0								
	② 配当予算	1,044		1,769		0		0								
	③ 執行額	582		1,335		0		0								
	④ 執行率	55.7%		75.5%												
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	1,040		1,120		1,120		0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,622		2,455		1,120		0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	茶業振興対策事業		種類	農林業費府補助金		1,010		実績金額	1,010		決算付属資料	30		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	荒茶生産金額	千円	63000	49852	/	68000	45893	/	68000	68000
			/	/		/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	茶業振興対策事業	事業	1	0	/	1	1	/	1	1
	単位あたりコスト		322.0	—		1335.0				
			/	/		/		/		
	単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図るために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	被覆棚等の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につながっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	品評会・お茶まつりの開催により両丹茶をアピールするなど、茶の品質及び生産力の向上につながる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	茶農家の高齢化等により荒茶の生産量が減少傾向にあるが、品質向上による農家の所得確保や新植・改植支援による新規就農者の確保に努める。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	茶業の振興を図るため、支援を継続する

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	畜産関連事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210235	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	家畜伝染病予防法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	家畜伝染病等の発生を防ぐため、畜産農家の訪問指導等により衛生対策の徹底を図る。				
対象者	畜産農家	対象者数	23	単位あたりコスト	75.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	133		133		131		138						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		133		133		131		138						
予算財源内訳	① 一般財源	78		83		88		93						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	55		50		43		45						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	133		133		0		0						
	③ 執行額	44		125		0		0						
	④ 執行率	32.8%		94.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.14	/	0.20	0.14	/	0.20	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,760		1,620		1,620		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,804		1,745		1,620		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	畜産振興対策事業		種類	農林業費府補助金		実績金額	45		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	伝染病等の発生件数	件	0/0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	巡回指導等の回数	回	25/30	36 / 30	32 / 30	/ 30	30
	単位あたりコスト		8.6	1.2	3.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市は養鶏農家が32件あり、鳥インフルエンザ対策を実施していくことは必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	鳥インフルエンザが市内で発生した場合、家きん農家の経営状況は著しく悪化すると考えられるため、防疫を行うことが最小限のコストとして効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	家きん農家の訪問を中丹家畜保健衛生所の職員と実施することで、有効な防疫を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	家畜伝染病の感染防止を図ることで、畜産振興に大きく寄与している		
これまでの課題及び今後の方向性	引続き、家畜伝染病の感染防止を図っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本市においては、豚熱に感染した野生イノシシが発見され、他府県では鳥インフルエンザも発生している。鳥インフルエンザが本市で発生した場合、家きん農家の著しい経営悪化は免れないため、家畜伝染病の蔓延防止に向けて事業を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	「スイーツのまち福知山」事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210228	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	スイーツフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市スイーツの森づくり支援事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	①丹波くりの生産振興とブランド化支援 ②「スイーツのまち」PRIによる観光誘客の増加を図る						
	対象者		総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	6,038		6,538		6,129		7,937		
	② 補正予算	△ 1,800		△ 3,460		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		4,238		3,078		6,129		7,937		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		629		3,437		
	② 国支出金	0		0		0		4,500		
	③ 府支出金	2,200		2,050		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	2,038		1,028		5,500		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	4,238		3,078		0		0		
	③ 執行額	3,713		2,736		0		0		
	④ 執行率	87.6%		88.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.31	/	0.00	0.25	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,480		2,000		2,000		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,193		4,736		2,000		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	「スイーツのまち福知山」事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)	種類	農林業費府補助金	実績金額	2,474	決算付属資料	30	頁
			地域振興基金繰入金		基金繰入金		190		38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	栗の生産量	t	0	24.8 / 42.6	集計中 / 47	/ 47	47
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	観光入客数	千人	927	1116 / 1000	890 / 1050	/ 500	1050
	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	栗の新植面積	ha	1	3.5 / 4	4.9 / 4.5	/ 4.5	4.5
	単位あたりコスト		973.1	1060.8	558.4		
	スイーツフェスティバル参加者数	人	6000	0 / 0	0 / 7500	/ 7500	7500
	単位あたりコスト		0.4				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	京ブランドとして府も推奨する「丹波くり」は、既に付加価値がある農産物であるため、市のブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために必要である
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	生産量を一気に増やすため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率により補助することで、規模拡大を図ることができる
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	JAを通さず自家出荷される農家が増えている中、正確な生産量を掴みにくくなっている
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・栗の生産者への新植、改植補助を実施し生産拡大を図った。 ・くりまつりにおいて、栗生産者と販売者をつなげ、栗の生産と販売促進を行う。 ・栗栽培における知識及び実績のある方を福知山市が認定し、講師として派遣し栗の新規栽培者の増加を図る。 ・スイーツフェスティバルの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。		
これまでの課題及び今後の方向性	・栽培地域により栗の栽培技術、方法等の違いがあるため、統一した指導が可能か検討が必要。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	丹波くりの新植及び改植に係る補助金については、引き続き行うこととする。 福知山市内のスイーツ店と丹波くり生産者の接点増加の観点からワークショップを開催するとともに、市内のスイーツ店における丹波くりの活用に対する支援を検討する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	京の水田農業確立支援事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210222	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	京の水田農業総合対策事業費補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中山間地の多い本市において、実需評価が高く収益性のある小豆、黒大豆、特別栽培米、酒米等を生産するための農業機械導入に対する支援を行い、特産物の振興と農家所得の向上を図る。					
対象者	農業者数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,630		7,495		22,080		9,679					
	② 補正予算	△ 5,775		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		5,855		7,495		22,080		9,679					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	5,855		7,495		22,080		9,679					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	5,855		7,495		0		0					
	③ 執行額	5,855		6,578		0		0					
	④ 執行率	100.0%		87.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.19	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,840		1,520		1,520		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,695		8,098		1,520		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	京の水田農業確立支援事業		種類	農林業費府補助金		実績金額	6,578		決算付属資料	28	
													頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	小豆栽培面積	ha	96	95 / 100	95 / 100	/ 100	100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成組織数	組織	4	3 / 6	6 / 6	/ 6	6
	単位あたりコスト		2226.8	1951.7	1096.3		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	集落営農組織の存続、強化のためには、農業用機械の導入に対する支援が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	導入機械の利用状況を把握している。機械を導入することにより、作業の効率化及び品質の向上を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小豆や酒米などの土地利用型作物の栽培には大型機械が必須であり、これを支援することは集落営農組織の育成強化に有効である。また、そのことで主食用米の価格低下等により作付けされなくなっている水田が増える中、水田の有効活用及び保全を図ることができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業機械の購入は営農組織の大きな負担となっている。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と組織の経営改善が期待できる。財源の全てが京都府補助で市に裁量のない事業であるため、京都府の直接執行等事務のあり方について京都府と協議を進める。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	府の要綱に従い、助成を継続する。（今後、市に裁量のない事業であるため、京都府の直接執行等事務のあり方について京都府と協議を進める。）

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農産物価格安定対策事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210218	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	野菜生産出荷安定法・施行令・施行規則、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実施要領、豆類価格安定対策事業等実施要領 他												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 （ 国・府制度の市負担分 ）												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。					
対象者	農業者数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,903		1,765		1,245		1,155		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		1,903		1,765		1,245		1,155		
予算財源内訳	① 一般財源	1,903		1,765		1,245		1,155		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 404		0		0		0		
	② 配当予算	1,499		1,765		0		0		
	③ 執行額	207		185		0		0		
	④ 執行率	13.8%		10.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.04	/	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00
	② 概算人件費	320		640		640		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		527		825		640		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	価格安定加入品目等の販売額(7品目)	百万円	143	235 / 220	200 / 250	/ 250	250
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	資金造成品目	品	8	8 / 10	8 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		239.3	25.9	23.1		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	野菜等の粗収益(手取収入)が、事前に定めた保証基準額を下回った場合に、府、市町村、契約出荷団体、生産者があらかじめ積み立てた交付準備金から補給金を交付しており、産地育成には必要な制度である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	JA支店単位で、契約農家の作付計画を基に、必要な交付準備金を積立する。それぞれの団体から準備金の拠出がある。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	京ブランド作物が保証対象となる。需要拡大が見込まれる作物が多く、作物の金額保証を行うことでより多くの農家が取り組む意欲増進に有効的な施策といえる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	対象生産者に補給交付金を交付し、野菜等生産農家の粗収益を一定水準に安定させる価格対策により、対象生産者の再生産を確保するとともに、生産振興対策と一体となった集団産地育成、保全を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	・平成30年度から開始された「収入保険」は、あらゆる作物・被害の損失に対応できるため大規模農家が当事業から離れた。(収入保険と当事業は併用して加入できない) ・京ブランド野菜に位置づけられた野菜が当事業の対象作物となる。府内でもかなりの需要が見込まれるため小規模農家が当事業を利用して安心して生産拡大を図れるようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	京ブランド野菜の価格補填は一定の需要があり、今後も継続して事業を実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業生産組織等指導強化事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210217	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	－							
根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事業費補助金交付要領、農業生産組織等指導強化事業補助金交付要領、福知山市地域農業再生協議会活動補助金、福知山市農村女性活動支援事業補助金												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	生産組織や担い手組織等の育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る。				
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	1.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,318		1,079		989		989					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,318		1,079		989		989					
予算財源内訳	① 一般財源	1,068		1,079		930		930					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	250		0		59		59					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	117		0		0		0					
	② 配当予算	1,435		1,079		0		0					
	③ 執行額	987		513		0		0					
	④ 執行率	68.8%		47.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.28	/	1.04	0.28	/	1.04	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	400		4,840		4,840		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,387		5,353		4,840		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	農業生産組織等指導強化事業(きょうと地域連携交付金)	種類	農林業費府補助金		実績金額	53		決算付属資料	28		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	農産物年間生産数量	トン	363	375 / 520	408 / 520	/ 520	520
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	農産物年間生産者数(水田活用農家)	戸	798	607 / 1000	470 / 1000	/ 1000	1000
	単位あたりコスト		3.6	1.6	1.1		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	生産農家の組織活動の育成助成を行う事で、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上を図るために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	各種団体の事業実施に対する支援を、他事業と比較し妥当な水準で行っている。また、団体の事業の内容についてもコスト削減の観点から実施するよう指導している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場や消費者などへの安心・安全な農作物の供給に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業生産組織等の育成強化を図るために必要な施策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後においても生産農家の生産力の強化及び販売力の向上のため、本事業において生産組織の育成強化を図る。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	各種組織の活動に対し、助成を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	京野菜生産加速化事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210215	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	京野菜生産加速化事業実施要綱、福知山市京野菜生産加速化事業実施要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	パイプハウス等を導入し、京野菜の産地規模の拡大に寄与するとともに農業経営の安定に資する。(府補助) 新規就農者に対して施設や機械導入を支援することで、次期の農業担い手を育成し産地拡大を目指す。(市補助)					
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	7.7
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,291		29,435		29,990		32,667					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		11,291		29,435		29,990		32,667					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	10,451		28,595		29,000		31,677					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	840		840		990		990					
決算情報	① 流充用額	△ 1,750		△ 6,974		0		0					
	② 配当予算	9,541		22,461		0		0					
	③ 執行額	5,855		22,292		0		0					
	④ 執行率	61.4%		99.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.14	/	0.00	0.19	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,120		1,520		1,520		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,975		23,812		1,520		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	京野菜生産加速化事業		種類	農林業費府補助金		21,864		28		頁	
			京野菜生産加速化事業基金繰入			基金繰入金		428		決算付属資料			42

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	万願寺とうがらしの販売額	百万円	146	129 / 150	144 / 150	/ 150	150
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	施設園芸(パイプハウス増棟数)	棟	8	5 / 15	14 / 15	/ 15	15
	単位あたりコスト		1529.0	1171.0	1592.3		
	万願寺とうがらしの生産量	t	182	180 / 240	183 / 240	/ 240	240
	単位あたりコスト		67.2	32.5	121.8		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	計画的なパイプハウス等導入による栽培面積の拡大を図り、農家経営の安定と京野菜を中心とした特産物の振興を図るために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	施設栽培(パイプハウス等導入)による京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜の供給を図るために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	パイプハウスは毎年一定数の導入があり、今後も安定した導入が見込まれる。特にこの事業を活用して万願寺とうがらしの生産者(新規就農者を含む)がパイプハウスを導入しており、高収益化が見込まれるブランド京野菜の生産拡大に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	将来的に高齢化や後継者不足による栽培面積の縮小が懸念されるが、今後もブランド京野菜の需要は大いに期待でき、担い手や新規就農者の推進を図ることにより産地拡大を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	京野菜生産拡大のため継続して補助を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	河川種苗放流事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210211	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	漁業法、内水面漁業振興対策事業費補助金交付要綱、福知山市内水面漁業振興対策事業費補助金交付要領、由良川漁業協同組合強化育成事業費交付要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	自己利益の向上を目指すだけでなく、由良川水系の漁業権を持つことで遊漁期間や遊魚区域、漁具を限定し、由良川における水産資源の保全にも大きな役割を果たしている由良川漁協を支援することで、あゆやふな等の水産資源の保全と増殖を図る。					
対象者	由良川漁業協同組合		対象者数	1	単位あたりコスト	11,450.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,248		10,880		10,880		10,900					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	9,248		10,880		10,880		10,900					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,624		2,440		2,440		2,450					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	7,624		8,440		8,440		8,450					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	9,248		10,880		0		0					
	③ 執行額	9,248		10,410		0		0					
	④ 執行率	100.0%		95.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.04	/	0.30	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,070		1,040		1,040		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,318		11,450		1,040		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	河川種苗放流事業		種類	農林業費府補助金		実績金額	2,081		決算付属資料	28	
			河川種苗放流事業基金繰入			基金繰入金			8,329			38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	水産物の販売、遊魚券の売上げ	千円	9648	10906 / 0	7815 / 17000	/ 17000	17000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	種苗放流量(あゆ、ふな等)	千匹	348/350	255 / 350	263 / 350	/ 350	350
	単位あたりコスト		27.1	36.3	39.6		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	河川種苗放流事業は由良川水系の水産資源確保に大きく寄与しており、漁業者からのニーズが高く今後も必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	水産資源の保全のためには、外来種による淘汰や天敵の捕食による損失分を考慮し、ある程度の数の種苗を放流することが必要である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	本事業の実施により、天然あゆをはじめとする由良川水系の水産資源を守るとは、淡水漁業の振興に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	種苗放流数は、目標に届かないものの、一定数の放流はできている。今後も継続し、放流量を増やして由良川水系の水産資源を維持する必要がある。 近年カワウ等の食害や出水による河川の荒廃により、漁業者の出荷量や入漁料収入が安定しないため、鳥獣害対策、河川環境の改善へ向けた取組が必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	業績指標が目標に達していないので、少しでも目標に近づき、福知山市の水産業の振興に努めていく必要がある。 今後も同様の内容を実施し、水産業の振興を継続する。 また、あゆの漁業量減少は、カワウによる食害の影響が大きいと思われるため、引き続き有害鳥獣対策担当とも連携しながらカワウ対策を推進していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	福知山市の水産業振興のために継続して支援を実施する

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	安心・安全の森づくり事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210199	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	災害の発生により、渓流から流出する土砂を防止する補助を減災、防災を目的に実施する。 また、被災した林道、作業道の復旧を行い、森林整備の早期再開を図る。 京都府施行の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。					
対象者	林道作業道管理者（対象数は路線数）		対象者数	391	単位あたりコスト	94.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他（					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	29,327		38,157		16,836		19,089					
	② 補正予算	△ 3,713		△ 6,758		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		25,614		31,399		16,836		19,089					
予算財源内訳	① 一般財源	16,937		22,695		7,282		13,060					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	8,287		7,724		9,054		3,018					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	390		980		500		3,011					
決算情報	① 流充用額	△ 8,185		3,071		0		0					
	② 配当予算	17,429		34,470		0		0					
	③ 執行額	17,248		34,279		0		0					
	④ 執行率	99.0%		99.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.54	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,320		2,560		2,560		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		21,568		36,839		2,560		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)	特財名称	安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)		種類	農林業費分担金		976		8	頁			
		安心・安全の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)			農林業費府補助金		9,806						
		林道占用料			農林使用料		14						
						実績金額		決算付属資料		30			
										10			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	丹州材の出荷量	m		3430 / 9300	2125 / 10000	/ 10000	10000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助金交付件数	件		1 / 12	3 / 8	/ -	0
	単位あたりコスト			17248.3	11426.3		
	林道・作業道維持路線		/	15 / 28	17 / 22	/ 11	0
	単位あたりコスト			1149.9	2016.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・木材搬出をするために、必要な林道等の基盤を整備することは必要である。 ・近年の豪雨等により多くの治山事業が必要で実施されており、その下流域の水路整備はニーズは高い。 ・水路等であるため、公共で整備する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・林道・作業道復旧は、適正な歩掛により、単価を出し、単価契約を締結している。 ・治山事業の実施に地元負担がないことや、治山事業に関連した水路整備であり、地元負担は徴収していない。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・成果実績は毎年確認できている。森林所有者等の一部負担はあるものの、国庫補助とならない作業道等を復旧を市独自で行うことで、森林への関心を引きとめられる有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・令和2年度は京都府施工の治山工事に合わせ、流末水路の整備を行うことで更なる災害防止を図っている。 ・一部負担を取りながら作業道等の復旧を行うなどして基盤整備を推進している。		
これまでの課題及び今後の方向性	・今後も京都府の治山事業の実施箇所の現場状況に応じ、流末水路整備等事業実施の必要がある。 ・私有山林等の間伐促進及び、間伐材を搬出するためにも重要な事業であり、継続して実施する。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	京都府施工の治山工事に合わせ、流末水路の整備の実施や、作業道等の復旧を行うなどして基盤整備を推進を継続する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	農業振興事務管理事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課							所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210189	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164・166	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農業振興に係る一般的経費を当事業で支出する。					
対象者			対象者数		単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,059		2,050		1,979		2,001					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		2,059		2,050		1,979		2,001					
予算財源内訳	① 一般財源	1,671		1,662		1,591		1,613					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	388		388		388		388					
決算情報	① 流充用額	450		377		0		0					
	② 配当予算	2,509		2,427		0		0					
	③ 執行額	2,446		1,888		0		0					
	④ 執行率	97.5%		77.8%									
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,760		1,120		1,120		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,206		3,008		1,120		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占有料		種類	農林使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁			
		携帯電話アンテナ占有料			農林使用料		385		10				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				- / -	- / -	/ -	-
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				- / -	- / -	/ -	-
	単位あたりコスト						
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	農業振興を円滑に進めるため必要な事務的経費である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	旅費の精査・物品購入時の価格比較等、コスト削減に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	成果の設定は困難である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業振興を推進するための事務経費として適切に支出した【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	農業振興事務を円滑に進めるために必要な経費であり、今後も継続する必要がある。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	農業振興事務にかかる事務経費

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林道施設災害復旧事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210184	款	13 災害復旧費	項	01 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	台風・豪雨等により被災した林道施設を復旧する。				
対象者	被災路線	対象者数	23	単位あたりコスト	6,208.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	12,100		0		0		0				
	② 補正予算	47,340		0		0		0				
	③ 繰越予算	68,477		172,122		0		0				
	前年度繰越	240,599		172,122		0		0				
	次年度繰越	△ 172,122		0		0		0				
小計(①～③)		127,917		172,122		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	62,845		7,114		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	55,787		159,979		0		0				
	④ 地方債	7,000		900		0		0				
	⑤ その他特財	2,285		4,129		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	127,917		172,122		0		0				
	③ 執行額	86,870		135,434		0		0				
	④ 執行率	67.9%		78.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.92	/	0.00	0.92	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	7,360		7,360		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		94,230		142,794		0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	林道施設災害復旧事業(繰越明許費分)		種類	災害復旧費府補助金		38,967		決算付属資料	32	頁
			林道施設災害復旧事業(事故繰越し分)			災害復旧費府補助金		100,831	32			
			林道施設災害復旧事業(繰越明許費分)			農林業費分担金		1,565	8			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	整備路線工事完成	路線	3/25(うち3路線は繰越分)	12 / 23	23 / 23	/ -	23
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	整備路線設計数	路線	22 / 22	23 / 23	/	/	
	単位あたりコスト		5094.0	3777.0			
	整備路線工事発注数	路線	4/24(うち2路線は繰越分)	23 / 23	/ 0	/	
	単位あたりコスト		28016.8	3777.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	被災した林道施設の復旧工事でニーズは高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	災害復旧であり、成果指標の設定が困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「定性的評価」 完了した路線について、安全な通行を確保した。また、繰越した路線について早期完成を目指す。		
これまでの課題及び今後の方向性	早期に復旧工事を完了する必要があるため、適切な進捗管理を行う。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	災害発生時において、林道の復旧を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合
	(統合先事業名:)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	有害鳥獣防除事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210177	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、有害鳥獣防除施設設置事業実施要領、有害鳥獣捕獲施設整備事業実施要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物等被害を軽減するため、侵入防止柵の設置、鳥獣の捕獲又は追払活動の支援などの防除対策を推進する。					
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	3.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,870	4,554	1,393	2,375			
	② 補正予算	0	0	5,315	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)		1,870	4,554	6,708	2,375			
予算財源内訳	① 一般財源	1,060	4,554	1,393	2,375			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	810	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,226	0	0			
	② 配当予算	1,870	3,328	0	0			
	③ 執行額	971	3,028	0	0			
	④ 執行率	51.9%	91.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.20 / 0.00	1.05 / 0.00	1.05 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	9,600	8,400	8,400	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,571	11,428	8,400	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	33,237/30,000	36921 / 30000	26034 / 31243	/ 29247	27251
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	有害鳥獣侵入防止柵設置(協議会事業)	km	49/90	26 / 90	22 / 27.9	/ 58	5962.4
	単位あたりコスト		27.9	37.3	137.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	野生鳥獣による農作物等への被害は、単に農作物等の収穫量が減少するだけでなく、農家の営農意欲や農地保全に大きな影響を与える。このような中、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する「侵入防止柵」及び「捕獲檻」の設置は、野生鳥獣による被害防止に寄与するものであり、地元のニーズを的確に捉えている。また、これらの事業を支援する本事業は、必要性、優先度ともに高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	野生鳥獣対策においては、捕獲や防除を複合的に取り組むことが重要である。このような中、捕獲を効果的に実施するための防除の要となる「侵入防止柵」は、施工性が優れ、長期間の使用に耐えることが必要であり、経費は妥当な水準である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	活動実績は、福知山市有害鳥獣対策協議会の実施事業による指標である。当協議会の支援は、活動実績指標を推進することになり、間接的に成果目標の指標を改善するため、適切な指標が設定できている。また、活動実績指標の推進による投資に対し、成果実績指標の改善効果は、営農が継続される限り続くことが期待でき、投資効果の高い事業であると考えている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	有害鳥獣対策として捕獲と防除の両面から実施しており、更なる防除対策の実施が必要な状況である。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も防除対策に対する国の財政支援の強化を継続して要望する。 鳥獣侵入防止柵の設置後、効果を持続させるために草刈りや補修等の維持管理を継続する必要があるが、高齢化が進む中、地元の労力確保が課題となっている。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210175	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	60103	施策名	スマートシティの実現									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ())												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	有害鳥獣対策に関する先進的知見を持つ兵庫県立大学の協力を得て、シカ・イノシシの生息密度推定調査に向けた準備や、有害鳥獣対策に意欲的な地域から選定したモデル農区とともに、積極的な有害鳥獣対策を推進する。 また、ICTを活用した様々な有害鳥獣に関するデータの可視化システム構築のため、県立大の指導のもと、システムの設計に取り組む。					
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)		対象者数	3,915	単位あたりコスト	3.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		0		13,623		16,790					
	② 補正予算	0		10,000		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		0		10,000		13,623		16,790					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		4,067		6,811		8,395					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		5,933		6,812		8,395					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	0		10,000		0		0					
	③ 執行額	0		9,705		0		0					
	④ 執行率			97.1%									
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	0		3,600		3,600		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		13,305		3,600		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)(過疎地域等自立活性化推進交付金)		種類	農林業費国庫補助金		4,927		20			
			スマートシティ推進事業基金繰入(有害鳥獣捕獲)			基金繰入金		4,626		決算付属資料		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円		/	26034	/	29247
				/		/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	シカ・イノシシ生息密度推定調査	回		/	0	/	1
	単位あたりコスト						
	モデル農区対策指導	回		/	2	/	12
	単位あたりコスト				4852.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	有害鳥獣による農作物への被害は多く、被害の声は後を絶たない。 また、全市的な頭数把握調査やモデル農区での獣害対策など、民・学・官が協働して当たるべき事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	兵庫県立大学に対し、全市的な頭数調査や複数のモデル農区への指導、またICT可視化システムの設計など、多岐にわたる業務を包括的に委託しており、先進的有害鳥獣対策の将来の水平展開を鑑みて、経費は適正であると考ええる
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	目標値としては、農作物被害の減少を最終出口と考えている。 まずはモデル農区での対策を優先的に取り組み、その成果を周辺に拡大していきたいと考えている。 モデル農区での取り組みは兵庫県が実施している事業を参考にしており、当該事業に参画している兵庫県立大学の協力を得て進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度の補正事業で開始しており、取組みを始めたばかりではあるが、モデル農区の意欲を確認し、今後の展開を期待できるところである。		
これまでの課題及び今後の方向性	長期的に取り組む必要があるため、早急に結果が出るものではないが、既に各農区の抱える課題なども浮かび上がってきており、その改善を目指す。 令和3年度の実施計画ではモデル農区指導を継続するほか、頭数調査などを計画的に実施していく予定としている。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	・有害鳥獣対策は全国的な課題であり、兵庫県立大学と協力して効果的に対策を講じる事業実施は評価できる。 ・長期的な取組みとなるが、各年度ごとにモデル地区指導、また新たな実施地域など計画的な取組みが必要である。 ・大学への委託費の妥当性については兵庫県での実績も含め定性評価において、丁寧な説明が必要である。 ・調査後、モデル事業からの事業展開が明確になっていない。農作物被害をどの程度回避できるのかなど、明確な目標設定が必要である。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和2年度から行ってきたカメラ調査のデータを基に、令和3年度はICTを用いた可視化システムの設計を行った。 令和4年度はこのシステムが運用出来るよう、システムの構築を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	有害鳥獣捕獲事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210174	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成25	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、福知山市有害鳥獣捕獲事業デジタル簡易無線機導入補助金交付要綱、福知山市有害鳥獣捕獲隊狩猟免許取得支援事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。				
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	205	単位あたりコスト	547.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	70,698		88,891		103,715		106,392								
	② 補正予算	0		0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0								
小計(①～③)		70,698		88,891		103,715		106,392								
予算財源内訳	① 一般財源	43,752		54,803		55,620		59,360								
	② 国支出金	0		0		0		0								
	③ 府支出金	26,934		34,076		48,083		47,020								
	④ 地方債	0		0		0		0								
	⑤ その他特財	12		12		12		12								
決算情報	① 流充用額	0		15,458		0		0								
	② 配当予算	70,698		104,349		0		0								
	③ 執行額	66,005		103,498		0		0								
	④ 執行率	93.4%		99.2%												
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	1.31	/	0.00	1.08	/	0.00	1.08	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	10,480		8,640		8,640		0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		76,485		112,138		8,640		0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	対象鳥獣捕獲等参加証明書手数料、鳥獣捕獲等許可証等再交付手数料		種類	農林手数料		8		実績金額	43,682		決算付属資料	14		頁
			緑の公共事業(有害鳥獣駆除関係事業)、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業			農林業費府補助金					30					

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	33,237 / 30,000	36921 / 30000	26034 / 31242	/ 29247	27251
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間捕獲頭数	頭	4,228/5,795	3659 / 5795	6066 / 5965	/ 5965	5965
	単位あたりコスト		15.0	18.0	17.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市における有害鳥獣の駆除活動は、福知山市有害鳥獣駆除隊員に委ねている。駆除の要望は年々増加しているなど市民ニーズが高く、継続が必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	駆除隊員に対する報償費について、項目を細分化し効率的な駆除活動の実施を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	成果指標は、事業の実施により直接的に有効なものである。 活動実績は、有害鳥獣の削減に直結する捕獲頭数であり、数値の管理もできている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	年間捕獲頭数は増加しており、農作物被害についても減少した。さらに農作物被害を縮減するため、引き続き有害鳥獣の捕獲を継続する必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	狩猟期の有害鳥獣捕獲等、様々な課題解決に取り組み、今後も引き続き駆除隊員による有害鳥獣の捕獲を実施していくことで、農作物被害を防ぎ、農業生産意欲の減少を防ぐため事業の継続が必要である。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	農作物被害軽減のため、有害鳥獣の捕獲を今後も継続していく。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林組合間伐補助事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210170	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	森林組合間伐補助事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施業を推進するため、主たる事業主体である森林組合に支援することで、市民(森林所有者)の負担軽減を図り、森林整備を促進する。 また、間伐した木材の搬出に対して支援することで一層の木材利用の推進を図る。				
対象者	福知山地方森林組合	対象者数	5,916	単位あたりコスト	1.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	19,041		17,541		15,616		16,127		
	② 補正予算	△ 4,041		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		15,000		17,541		15,616		16,127		
予算財源内訳	① 一般財源	12,450		12,573		11,440		16,127		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	2,550		4,968		4,176		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 7,446		0		0		
	② 配当予算	15,000		10,095		0		0		
	③ 執行額	10,570		9,736		0		0		
	④ 執行率	70.5%		96.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00
	② 概算人件費	800		800		800		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,370		10,536		800		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	243/ 544	266 / 565	集計中 / 587	/	587	587
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	森林整備面積(間伐)	ha	162.84/ 180	95.01 / 130	66.41 / 250	/	250	250
	単位あたりコスト		83.7	111.3	146.6			
	間伐材搬出	m3	1741/3300	1733 / 3680	2056 / 4000	/	4000	4000
	単位あたりコスト		7.8	6.1	4.7			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	森林のもつ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。 また、国レベルでも防災の面から森林整備は喫緊の課題とされており、森林整備の促進は必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	成果目標については、過去の実績から増加させているものであり、十分に理にかなったものとは言い難い。 活動実績についても目標設定が高く、設定方法の検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	森林整備面積について、年々減少傾向であり、林業作業員数等の他方面からの支援と合わせて検討する必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	森林整備は今後も重要な事業であり、国・府支援のもと事業を推進していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施業を推進するために、継続して事業を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210165	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	地域再生計画(道路整備)							
根拠法令等	地域再生法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域再生計画に基づき、通常の林道機能に加え次の視点を視野にいれて事業を実施する。 林道大江山線　観光道路としての位置づけを含む。				
対象者	森林所有者(大江山線)	対象者数	5	単位あたりコスト	8,686.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他　(				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,400		10,000		20,000		22,085		
	② 補正予算	22,720		20,000		0		0		
	③ 繰越予算	14,506		7,994		0		0		
	前年度繰越	22,500		7,994		0		0		
	次年度繰越	△ 7,994		0		0		0		
小計(①～③)		39,626		37,994		20,000		22,085		
予算財源内訳	① 一般財源	1,540		1,534		1,000		1,185		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	20,786		19,460		10,000		11,000		
	④ 地方債	17,300		17,000		9,000		9,900		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	100		78		0		0		
	② 配当予算	39,726		38,072		0		0		
	③ 執行額	39,381		38,071		0		0		
	④ 執行率	99.1%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員／嘱託職員)	0.59	/	0.00	0.67	/	0.00	0.67	/	0.00
	② 概算人件費	4,720		5,360		5,360		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		44,101		43,431		5,360		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(地方創生道整備推進交付金)(繰越分)	種類	農林業債	実績金額	1,400	決算付属資料	52	頁
			地域間交流促進ネットワーク事業(地方創生道整備推進交付金)(現年分)		農林業費府補助金		15,500		30	
			地域間交流促進ネットワーク事業(地方創生道整備推進交付金)(繰越分)		農林業費府補助金		6,560		30	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	丹州材の出荷量	m3	3300/8500	3430 / 9300	2125 / 10000	/ 10000	10000
	国定公園への来訪者数	人	131000/257000	123000 / 257000	114000 / 257000	/ 257000	257000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	事業実施延長(大江山線)	m	0/33	27 / 48	42 / 51	/ 45	合計延長300m
	単位あたりコスト		0.0	1458.6	906.5		
	事業実施延長(額田大油子線)	m	0/59	79 / 79	41 / 40	/ -	合計延長620m
	単位あたりコスト		0.0	498.5	928.6		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・観光道路及び災害時の迂回路として市管理林道を整備するものであり、市道とあわせてネットワークを構築するための重要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、法面改良工事を実施した。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・成果実績は毎年度把握している。 ・地域再生計画に基づき実施しているものであり、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市道とともにネットワークを構築する事業であり、この事業を実施することで森林整備につながる林道改良により間伐材の搬出量の増加や大江山への観光客の誘客に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域再生計画として認定されている事業計画について、予算を確保しながら継続的に実施する必要がある。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	森林整備につながる林道の改良により間伐材の搬出量の増加や、大江山への観光客の誘客を促進するため、継続して事業を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業（農業施設（共同作業所））												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210161	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	-	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画							
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域住民による施設の管理運営が適切な場合や民間事業者が継続的に運営することが可能かつ妥当な場合において、地域コミュニティや民間事業者に施設を委譲することにより、当該施設の機能・サービスの継続やサービスの向上を図る。					
対象者	譲渡組織		対象者数	3	単位あたりコスト	213.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,850		400		293		15,429		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	3,850		400		293		15,429		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		293		15,429		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	3,850		400		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	3,850		400		0		0		
	③ 執行額	2,525		0		0		0		
	④ 執行率	65.6%		0.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00
	② 概算人件費	2,160		640		640		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,685		640		640		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	譲渡件数	件	0	0 / 3	0 / 3	/ 3	56
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	譲渡件数	件	0	0 / 3	0 / 3	/ 3	56
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	継続利用による事業効果が見込まれる施設について、施設管理者へ譲渡することで財政負担を軽減するとともに、譲渡により貴重な財源をより意義のあるサービスへ転換することができる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	施設譲渡の条件である改修工事については協議を実施し、登記経費等は単価が設定されており、コストは妥当なものである。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	当該年度中に施設の譲渡には至らなかったが、公共施設マネジメント計画に沿った事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・対象施設のマネジメントに係る地元説明は完了しているが、地元の施設処分等にかかる合意形成に時間を要している。 ・継続利用による事業効果が見込まれる施設については、管理者へ譲渡することで維持管理費の削減を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	・各施設の地元での利用、管理状況を的確に把握し、早期に施設処分等に係る合意形成を図る。 ・マネジメント計画の着実な実施により事業の縮減を図る。 ・現在施設の維持管理費が損害保険料のみとなっている中、一定の大きな修繕を行ったうえで民間に譲渡することとコストの再比較が必要である。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画に基づき、譲渡を行う。譲渡予定の「長田花卉温室」に係る修繕費用の関係で前年度より要求額を増やしている。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210153	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172・174	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (綾部市・舞鶴市との共同運営)												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市（福知山市、綾部市、舞鶴市）の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより駆除隊員の埋設労力負担を軽減し計画的な捕獲を推進し、農作物被害の軽減を図る。					
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員		対象者数	219	単位あたりコスト	224.8
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	46,338	58,094	51,916	97,365				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)		46,338	58,094	51,916	97,365				
予算財源内訳	① 一般財源	24,673	23,427	27,396	46,582				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	8,100	1,700	31,650				
	⑤ その他特財	21,665	26,567	22,820	19,133				
決算情報	① 流充用額	△ 684	△ 7,851	0	0				
	② 配当予算	45,655	50,243	0	0				
	③ 執行額	40,375	45,470	0	0				
	④ 執行率	88.4%	90.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.62 / 0.00	0.47 / 0.00	0.47 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,960	3,760	3,760	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		45,335	49,230	3,760	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営他市負担金	種類	雑入	実績金額	18,504	決算付属資料	48	頁
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(過疎対策)		農林業債		1,200		52	
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(きょうと地域連携交付金)		農林業費府補助金		11,476		30	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	33,237/30,000	36921 / 30000	26034 / 31242	/ 29247	27251
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間処理頭数	頭	7525	8082 / 4205	9606 / 4205	/ 4205	4205
	単位あたりコスト		5.3	5.0	4.7		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・有害鳥獣対策は本市の喫緊の課題であり、捕獲した個体の処分をこれまで埋設していたが、本施設の設置により、一時保管庫への運搬で軽減されており、有害鳥獣捕獲の推進に寄与している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・焼却時の燃料の灯油について、入札を行い単価契約で実施し、コスト削減を行っている。(会計契約単価の2/3程度)
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・年間処理頭数が年々増加傾向にあるため、有害鳥獣の捕獲が進んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・当初計画処理頭数を越えた処理頭数となっており、有害鳥獣捕獲がかなり進んでいると思われる。		
これまでの課題及び今後の方向性	・当初計画頭数を越えた処理頭数となっており、収集運搬・焼却処分に影響を与えている。 ・特に、9-11月(狩猟期前)には一時保管庫での保管が困難なケースもあり、対応を検討する必要がある。 ・焼却設備については、燃焼温度が高温で多量の焼却を行っているため、焼却炉や熱交換器等の定期的なメンテナンスや、設備改修を行い、安定した焼却を確保する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	搬入頭数の増加により、焼却設備の維持管理、メンテナンス及び改修工事に係る費用が増加しているが、安定した焼却を確保し適切に運用を行うため、継続して事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林適正整備推進事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210133	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市緑の公共事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	奥地条件不利地におけるスギ・ヒノキの人工林の健全な成長を促進させるため、緊急的な間伐を支援する。												
対象者	福知山地方森林組合						対象者数	5,916		単位あたりコスト	0.7		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合												
事業概要 (箇条書き)	・条件不利地での高齢級間伐の事業費に対する支援												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	3,110		条件不利地での高齢級間伐の事業費に対する補助									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,244		0		3,110		3,110						
	② 補正予算	0		3,110		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
	小計(①～③)	2,244		3,110		3,110		3,110						
予算財源内訳	① 一般財源	375		519		519		519						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	1,869		2,591		2,591		2,591						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	2,244		3,110		0		0						
	③ 執行額	1,945		3,110		0		0						
	④ 執行率	86.7%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00				
	② 概算人件費	560		800		800		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,505		3,910		800		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	緑の公共事業補助金		種類	農林業費府補助金		実績金額	2,591		決算付属資料	30		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha		266 / 565	集計中 / 587	/ 587	587
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林整備面積	ha		13 / 40	20 / 150	/ 150	150
	単位あたりコスト			149.6	155.5		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・森林の持つ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	成果目標については、過去の実績から増加させているものであり、十分に理にかなったものとは言い難い。 活動実績についても目標設定が高く、設定方法の検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	奥地条件不利地において、森林所有者が間伐の施業を希望する場合、非常に有効な補助事業であり活用を希望する森林所有者は多い。ただし、市が実施する事業のみで成果実績の達成は困難であるが、今後も京都府と調整して必要な箇所の整備を行い、市全体の森林整備面積を増加させる必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業における間伐事業については、森林所有者のニーズも高く、継続して進めていくべき事業である。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	森林所有者のニーズも高い事業であるため、令和3年度と同面積の予算要求を行う。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林整備地域活動支援推進事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210131	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	意欲的林業者グループ活動支援事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	林業の健全な発展及び森林を守り育てる活動のさらなる拡大を目指し、望ましい林業構造の確立を図り、山村地域のコミュニティを維持、活性化させるため、林業者等で構成し、意欲的に活動するグループを支援する。				
対象者	林業者グループ	対象者数	5	単位あたりコスト	197.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	500		400		370		370					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		500		400		370		370					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	500		400		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		370		370					
決算情報	① 流充用額	△ 200		0		0		0					
	② 配当予算	300		400		0		0					
	③ 執行額	291		187		0		0					
	④ 執行率	96.8%		46.8%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.09	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	720		800		800		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,011		987		800		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	森林整備地域活動支援推進事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	農林業費府補助金	実績金額	187		決算付属資料	30		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	243 / 544	266 / 565	集計中 / 587	/ 587	587
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林経営計画認定	地区	2 / 2	2 / 2	3 / 20	/ 10	30
	単位あたりコスト		107.0	145.4	62.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	意欲的な林業者グループを支援することで、森林整備の促進や技術の研鑽が期待できる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助対象者の事業内容を十分に精査し、コストも考慮している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	補助を活用し、林業・作業道の整備が行われたほか、研修会の開催による技術の研鑽や知識の習得が行われており、意欲的な林業者グループの活動の活性化に寄与しており、さらなる林業振興の推進に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	意欲的な林業者グループに補助を行うことで、林業振興を行ううえでの地元のリーダー的存在の育成につなげ、さらなる林業振興の推進を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	林業振興を円滑に、より進めていくために必要な事業であるため、引き続き補助を行う。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	意欲的林業者グループの活動の活性化により林業振興を進めていくため、継続して事業を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林業関係事務事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210124	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費を当事業で支出する。									
対象者					対象者数	-	単位あたりコスト			
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,607		3,790		1,691		1,731			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,607		3,790		1,691		1,731			
予算財源内訳	① 一般財源	477		2,660		553		593			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	1,130		1,130		1,138		1,138			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	1,607		3,790		0		0			
	③ 執行額	1,521		1,767		0		0			
	④ 執行率	94.6%		46.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	
	② 概算人件費	560		1,280		1,280		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,081		3,047		1,280		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(旧慣関係)		種類	財産貸付収入		実績金額	546		34	頁
		電柱類設置貸付収入			財産貸付収入			593			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	林業振興を円滑に進めるにあたり必要な事務経費である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	交通費等のコスト比較を行ったうえ、また物品購入の際は精査したうえで購入しており、支出を最小限にとどめている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	成果指標の設定は困難であるが、総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての必要最小限の事務経費を当事業で支出しており、林業振興を図るうえで有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費として適正に支出した。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	林業振興を円滑に進めるために必要な事務経費であるため、今後も継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和4年度事業見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営林管理事業															
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学							
会計情報	事業コード	210123	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する												
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	財産である市有林の有効な活用を図る。また頻発している山林の土砂流出を防止する観点で、市有林の間伐を行う。 緑のオーナーに対しての情報発信を目的に、オーナーとの交流を図る				
対象者	緑のオーナー	対象者数	97	単位あたりコスト	64.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,041		6,698		10,936		2,758		
	② 補正予算	△ 1,280		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		3,761		6,698		10,936		2,758		
予算財源内訳	① 一般財源	3,720		6,373		10,832		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	41		325		104		2,758		
決算情報	① 流充用額	△ 37		△ 1,444		0		0		
	② 配当予算	3,724		5,254		0		0		
	③ 執行額	3,724		5,254		0		0		
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.09	/	0.00	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00
	② 概算人件費	720		960		960		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,444		6,214		960		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緑のオーナー事業基金繰入			種類	基金繰入金	実績金額	6	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	オーナーへの情報発信	人	0	96 / 97	96 / 97	/ 97	97
	森林整備面積(市全体)	ha	/	266 / 565	集計中 / 587	/ 587	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	情報誌送付回数	回	0	1 / 3	1 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		0.0	3724.5	5254.0		
	森林整備面積	ha	/	10.32 / 10	19.28 / 16	/ 33	50
	単位あたりコスト		0.0	360.9	272.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市の財産である市有林を適正に管理するため必要である。 また、緑のオーナーに関することについては、平成6年度に大江町が締結している契約を履行するために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・市営林であるため、市が行う ・適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、本数調整伐を行った。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・成果指標は市全体の間伐面積として把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	森林環境譲与税を活用し、市有林の本数調整伐を実施することにより、防災面に寄与し市有林の適正な管理を行うことが出来た。 緑のオーナーに対しては、現状を情報発信することで契約満期に向けて必要な情報を発信することが出来た。		
これまでの課題及び今後の方向性	木材価格が下落傾向の今、市有林の今後の在り方を検討した。 調査結果を用い、令和3年度以降に市有林の在り方を決定する予定をしている。 国の中でも防災面において、森林整備が喫緊の課題とされているため、今後も市有林の適正な管理を目指す必要があると考えられるが、木材として成長を目指すか針広混交林化を目指すべきかの検討が必要である。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	市有林の間伐については、間伐候補地が現在はないため行わないこととする。 令和5年度末に契約満了となる「緑のオーナー」による分収地の毎木調査を実施し、入札に向けた準備を行う。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農林漁業施設維持管理事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	西畑 信寿				
会計情報	事業コード	210122	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画							
根拠法令等	－												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 （												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農林業振興課所管の農林漁業施設の維持管理を行う。					
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	928		870		869		717					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	928		870		869		717					
予算財源内訳	① 一般財源	928		870		869		717					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	1,750		0		0		0					
	② 配当予算	2,678		870		0		0					
	③ 執行額	2,259		530		0		0					
	④ 執行率	84.4%		60.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.25	/	0.12	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,300		1,120		1,120		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,559		1,650		1,120		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	保険料	千円	44	47 / 0	46 / 46	/ 46	—
	公共施設除却、譲渡(延数)	施設	15/56	16/56 / 0	16/56 / 19	/ 19/56	56
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	公共施設除却、譲渡数	施設	1/7	1/3 / 0	0 / 3	/ 0/3	—
	単位あたりコスト		380.0	2259.0			
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・農業施設の修繕に備える必要がある ・管理用地等の地元貸与を促進する必要がある
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・施設修繕等により、施設の維持管理を適切に行える。 ・除草等業務の地元委託
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・次年度以降に向けた管理用地の民間利用可能な条件整備を促進
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農林業振興課所管の農林漁業施設の損害保険料の支出を行うとともに農林業振興課所管の用地の除草を行い、適切な管理を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	資産の有効な活用を図るため、福知山市公共施設マネジメント計画に則り、施設利用者（地元）との合意形成を進める。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本年度、農林業振興課所管施設の除草業務について、委託先をシルバーから地元自治会に変更した。 次年度も地元自治会に委託する予定。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林経営管理事業												
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	余田 学				
会計情報	事業コード	210104	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市森林経営管理意向調査実施計画							
根拠法令等	森林経営管理法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	森林の適正な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や水源涵養等へ影響を及ぼすことが懸念されるため、「森林経営管理法」が施行され、森林の適正な経営や管理を行わなければならないこととなっている。 このため、森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。					
対象者	森林所有者(観音寺地区、室・市寺地区)		対象者数	218	単位あたりコスト	219.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	12,492		45,406		53,768		126,071						
	② 補正予算	1,280		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		13,772		45,406		53,768		126,071						
予算財源内訳	① 一般財源	13,772		35,059		53,768		52,372						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		10,347		0		73,699						
決算情報	① 流充用額	8,385		0		0		0						
	② 配当予算	22,157		45,406		0		0						
	③ 執行額	21,800		42,125		0		0						
	④ 執行率	98.4%		92.8%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.60	/	0.00	0.72	/	0.00	0.72	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	4,800		5,760		5,760		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		26,600		47,885		5,760		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha		266 / 565	集計中 / 587	/ 587	587
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	森林経営管理権設定地区	箇所		0 / 1	1 / 1	/ 2	31
	単位あたりコスト				42125.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、森林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	財源として、森林環境譲与税が国から譲与され充当し事業を実施している。事業内容においては、見積徴収や国の単価参考資料と比較する等してコスト削減を実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業者が管理することになることから、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度から始まった制度ではあるが、2年目において森林経営管理権集積計画の作成を行うことが出来た。また、レーザ測量及び森林資源解析と新たな業務を行うことで今後の事業の進め方及び課題を見出すことが出来た。 長期の実施計画を作成することにより、今後の事業展開について明確になった。		
これまでの課題及び今後の方向性	森林所有者の探索及び森林の境界明確化の進め方が困難であるため、外部委託先も含め、進め方を検討していきたい。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	2地区目の意向調査及び3地区目の境界明確化を行う。 また、今後取組に着手する市内7地区の森林資源調査を実施する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)